# 施策4

# まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興(全17事務事業)

## 施策4.まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興

#### ● 施策評価表

● 事務事業評価表		掲載開始 ページ
	(まちの魅力推進課)	4-1
2. 県観光団体参画事業	(まちの魅力推進課)	4-3
3. 商工業支援事業	(まちの魅力推進課)	4-5
4. 吉原農区活性化事業(吉原農区活性化基金積立金)	(生活安全課)	4-7
5. 糟屋地域農業振興連絡協議会参画事業	(都市整備課)	4-9
6. 農区等支援事業	(都市整備課)	4-11
7. 早期水稲苗育成助成事業	(都市整備課)	4-13
8. 農業用施設維持管理事業	(都市整備課)	4-15
9. 農業用水門整備事業	(都市整備課)	4-17
10. 農業用井堰管理事業	(都市整備課)	4-19
11. ファミリー農園管理事業	(都市整備課)	4-21
12. 吉原農区活性化事業	(都市整備課)	4-23
13. 伝承文化振興団体支援事業	(社会教育課)	4-25
14. 文化財整備·保護事業	(社会教育課)	4-27
15. 竪坑櫓保存管理事業	(社会教育課)	4-29
16. 歴史資料室運営事業	(社会教育課)	4-31
17. 発掘調査事業	(社会教育課)	4-33

	施策評	平価表 (事業実施年度:令和 04 年度)	前期基本計画期間 《令和3年度~7年度》				
体総合計	基本目標	1. "ひと"と"まち"がにぎわい魅力あふれるまち かんだい かんしゅう かんしゅ かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅん かんしゃ かんしゅん かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんし	施策統括課 まちの魅力推進課				
計 系画	施策	4. まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興	関係課都市整備課·社会教育課				

1. 施策の成果指標の達成度

1. 施策の成果指標の達成度					
成果指標	単位	基準値	R4目標値	実績値の年次推移	判定
(関連する町の取り組むべきこと)	T-122	目標の方向性	R4実績値		13/4
まちの魅力発信イベント開催数【総合戦略】		2	2	5件 <u>目標値</u> △ 実績値 ● 4	
1	件	7	2	2 1 0 2 2 2 2 2 2 3 3 4 4 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	a
4-1				一条学順 パン パチ パン パン パン	
志免町に愛着がある町民の割合	0/	76.0	77.6	85 % <b>目標値 △</b> 実績値 ● 83 81 81 79 A A	
	%	7	82.4	77 75 73 76.8 77.6 78.4 79.2 80.0	a
4-2				基準値 R3 R4 R5 R6 R7	
起業塾の参加者数 【総合戦略】		8	9	35人 <u>具標値 △ 実績値 ● 30 30 15 15 △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △</u>	_
4-3	人	7	30	10 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	a
事業所数		1,621		1,7歲 <sup>#</sup> 門目標值 △ 実績値 ● 1,650 1,600 — 1,621 ◆ 1,616 ◆ 1,616 △ △ △	
	事業所	<b>\( \)</b>	1,616	1,550 1,621 1,621 1,621 1,621 1,621 1,621	a
4-3			,	基準値 R3 R4 R5 R6 R7	
遊休農地(耕作放棄地)面積		1.67	1.40	2.0 ha 目標値 △ 実績値 ● 1.8 1.8 1.6 1.4 1.2 1.0 1.26 △ 1.40 1.27 Δ	
	ha	7	1.26	1.26 \( \triangle \) 1.54 \( \triangle \) 1.27 \( \triangle \) 1.13 \( \triangle \) 1.00	a
4-4		-	7.1_3	基準値 R3 R4 R5 R6 R7	
は出席・ 口標をは出している ! 「	ᅺᆖᆂᅩ				

達成度:a …目標を達成している、b…目標をわずかに達成していない、c…目標を達成していない

#### 2. 町が取り組むべきことの実施状況と方向性

4-1 まちの魅力を発信する	所管課
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位(53項目中)	まちの魅力推進課
まちの魅力の発信 48 位 / 27 位	· · · · · · · · · · · · · · · · · ·

	町が取り約	<b>狙むべきこと①</b>	商工会や	や町内の団体	などによる地域資源	を活用したイク	ベントなどの	開催を支援	します。	【総合輔	<b>災略</b> 】
	主なⅠ	取り組み状況	·住民団	体である「志	oukouミニフェスタ」の 免68」のイベント、「タ 別名義後援として支持	タテコウヤグラ	イブ」を特別	名義後援と  となった)。	:して支援 。	受した(	チーム前向
		課題	・コロナ	禍でのイベン	ト実施自体が困難な	ものもあった。					
	R6年原	度取り組み方針	・これま	でのどおり、	商工会や町内の団体	などのイベント	 開催を支援	する。			
	町が取り約	且むべきこと②	企業や商	商工会、行政	が連携し、まちの魅力を発信するイベントの企画やPRを行います。						
	主なⅠ	取り組み状況	デー」、デ	・志免町の魅力を発信するイベントとして、アビスパ福岡とフレンドリータウン協定による「志免町応援 デー」、志免町商工会と連携した「shoukouミニフェスタ」、中の坪公園周辺の企業や保育園とコラボした イルミネーションの点灯「ともにともそうプロジェクト」のイベント企画やPRを行った。					町応援 コラボした		
		課題	・コロナねる。	禍で人が集る	まるイベントの実施が	難しかった為、	今後の通常	開催に向け	ての人集	<b>めが</b> る	下透明であ
	R6年度	度取り組み方針	・これま	でのイベント	を継続し拡充しながら	ら、他のイベント	〜も検討する	) o			
	町が取り約	且むべきこと③	住民活動	動団体と連携	し、まちを活性化する	5イベントなどで	を町内外へ着	発信します。	【総合戦	略】	
	主なⅠ	取り組み状況	・中ノ坪	公園のイルミ	スーション点灯を実施	もし、住民活動	団体(和太鼓	支とよさこい	いの披露	を行っ	た。
		課題	・コロナねる。	禍で人が集る	まるイベントの実施が	難しかった為、	今後の通常	開催に向け	ての人集	<b>めが</b> る	下透明であ
	R6年原	度取り組み方針	・これま	でのイベント	を継続し拡充しながら	ら、他のイベント	〜も検討する	00			
					町が取り組むべきこと	この達成状況					
Ľ		狙むべきことを実施し、			げている						
	1 HI 7\ HU () 2	けいへ きごとを 丰 師した	が成単が	<b>ぶあがっていかい</b>							
		狙むべきことを実施した 狙むべきことを実施でき									
		狙むべきことを実施でき	ず、成果か	があがっていない	構成する事務事業(評 <b>個</b>	<b>西対象事業のみ)</b>					- AA
[		組むべきことを実施でき 事務事業	ず、成果が名	があがっていない	構成する事務事業(評価	事務事業評			A 1/4 (D)		<b>西策評価</b>
番号		組むべきことを実施でき 事務事業 事務事業の	ず、成果が名	があがっていない 本	構成する事務事業(評価 経費区分	事務事業評( 事 R3	業費(千円) R4	R5	今後の方向性		施策評価
番号		組むべきことを実施でき 事務事業 事務事業の 担当課	名概要	があがっていない 本    会計区分	経費区分	事務事業評( 事 R3 決算	業費(千円) R4 決算	予算	方向性	優先	施策評価 での方向性
[		組むべきことを実施でき 事務事業 事務事業の	名概要	があがっていない 本    会計区分		事務事業評( 事 R3	業費(千円) R4	予算 8,166 1,663	方向性	優先 度	施策評価
	一	唱むべきことを実施でき 事務事業 事務事業の 担当課 まちの魅力発 興味や愛着を高めるた	ず、成果が 名 概要 <b>信事業</b> めに、町民	があがっていない 木 会計区分 での外住民に	経費区分特定財源	事務事業評( 事 R3 決算 4,446	業費(千円) R4 決算 4,044	予算 8,166 1,663	方向性 D 成果·費	優先 度	施策評価での方向性 D 成果・費用
	一	事務事業 事務事業の 担当課 まちの魅力発 興味や愛着を高めるた	ず、成果が 名 概要 <b>信事業</b> めに、町民ピントの開催	があがっていない 本 一会計区分 … や町外住民に などを行う。	経費区分 特定財源 一般財源 合計 (內 会計年度任用職員人件費)	事務事業評 R3 決算 4,446 120 4,566	業費(千円) R4 決算 4,044 204 <b>4,248</b>	予算 8,166 1,663 <b>9,829</b> (1,591)	方向性	優先 度	施策評価 での方向性 D
	一	事務事業 事務事業の 担当課 まちの魅力発 興味や愛着を高めるたの魅力を発信するイベ まちの魅力推進課	ず、成果が 名 概要 <b>に、町民</b> が かに、町民・ かいこ、町民・	があがっていない 本  会計区分 … や町外住民に などを行う。  一般会計	経費区分 特定財源 一般財源 合計	事務事業評 事 R3 決算 4,446 120	業費(千円) R4 決算 4,044 204	予算 8,166 1,663 <b>9,829</b> (1,591) 1.45	方向性 D 成果・費 用とも 維持	優先 度	施策評価での方向性 D 成果・費用とも維持
	一	事務事業 事務事業の 担当課 まちの魅力発 興味や愛着を高めるた	ず、成果が 名 概要 <b>に、町民</b> が かに、町民・ かいこ、町民・	があがっていない 本  会計区分 … や町外住民に などを行う。  一般会計	経費区分 特定財源 一般財源 合計 (內 会計年度任用職員人件費) 関与 正職員数(人)	事務事業評 R3 決算 4,446 120 4,566	業費(千円) R4 決算 4,044 204 <b>4,248</b>	予算 8,166 1,663 <b>9,829</b> (1,591)	方向性 D 成果・費 用とも 維持	優先 度	施策評価での方向性 D 成果・費用
1	志免町への設力して、まち	事務事業 事務事業の担当課 まちの魅力発 興味や愛着を高めるたの魅力を発信するイベまちの魅力推進課 県観光団体参	ず、成果が 名 概要 <b>信事業</b> めに、町民催 ! !	があがっていない  会計区分  ************************************	経費区分 特定財源 一般財源 合計 (內 会計年度任用職員人件費) 関与 正職員数(人) 特定財源 一般財源 一般財源	事務事業評 R3 決算 4,446 120 4,566 1.34	業費(千円) R4 決算 4,044 204 <b>4,248</b> 1.03	予算 8,166 1,663 <b>9,829</b> (1,591) 1.45	方向 D 成果と持 D 成果と 表持 D 成果と 表持 D 成果と 表持 D の果とも	優先 度	施策評価での方向性 D 成果・費用とも維持 D 成果・費用
1	志免町への 対して、まち 志免町の観 会などに参	事務事業 事務事業の 担当課 まちの魅力発 興味や愛着を高めるたの魅力を発信するイベ まちの魅力推進課 県観光団体参 供観光団体参	ず、成果が名 名 概要 終信事業 めに、開催 シントの開催	があがっていない    会計区分   では、	経費区分 特定財源 一般財源 合計 (内 会計年度任用職員人件費) 関与 正職員数(人) 特定財源 一般財源	事務事業評 R3 決算 4,446 120 4,566 1.34 5	業費(千円) R4 決算 4,044 204 <b>4,248</b> 1.03 0 110	予算 8,166 1,663 <b>9,829</b> (1,591) 1.45 0 120	方向性 D 成果・表 D 成果・費 D 成果・費	優先 度	施策評価での方向性 D 成果・費用とも維持
1	志免町への 対して、まち 志免町の観 会などに参	事務事業 事務事業の担当課 まちの魅力発 興味や愛着を高めるたの魅力を発信するイベまちの魅力推進課 県観光団体参	ず、成果が名 名 概要 終信事業 めに、開催 シントの開催	があがっていない  本  会計区分  で町外住民になどを行う。  一般会計  観光推進協議	経費区分 特定財源 一般財源 一般財源 合計 (内 会計年度任用職員人件費) 関与 正職員数(人) 特定財源 一般財源 一般財源 合計 (内 会計年度任用職員人件費)	事務事業評 R3 決算 4,446 120 4,566 1.34 5 105 110	業費(千円) R4 決算 4,044 204 <b>4,248</b> 1.03 0 110 110	予算 8,166 1,663 <b>9,829</b> (1,591) 1.45 0 120	方向 D 成果と持 D 成果と 表持 D 成果と 表持 D 成果と 表持 D の果とも	優先 度	施策評価での方向性 D 成果・費用とも維持 D 成果・費用
1 2	志免町への終った。	事務事業 事務事業の 担当課 まちの魅力発 興味や愛着を高めるたの魅力を発信するイベ まちの魅力推進課 県観光団体参 供観光団体参	で、成果が名 概要 に、福岡県催まる。 福岡県福岡県福岡県福岡県福岡県福岡県福岡県福岡県福岡県福岡県福岡県福岡県福岡県福	があがっていない    会計区分   では、	経費区分 特定財源 一般財源 一般財源 合計 (内会計年度任用職員人件費) 関与正職員数(人) 特定財源 一般財源 合計 (内会計年度任用職員人件費) 関与正職員数(人)	事務事業評 R3 決算 4,446 120 4,566 1.34 5 105 110	業費(千円) R4 決算 4,044 204 <b>4,248</b> 1.03 0 110 110	予算 8,166 1,663 <b>9,829</b> (1,591) 1.45 0 120	方向 D 成果と持 D 成果とも 成果とも	優先 度	施策評価での方向性 D 成果・費用とも維持 D 成果・費用
1 2	志免町への野が取りが 志免町への野がして、まち を会などに参称	事務事業 事務事業の 担当課 まちの魅力発 興味や愛着を高めるたの魅力を発信するイベ まちの魅力推進課 県観光団体参 光情報を広くするため 動する。 まちの魅力推進課	で、成果が名のでは、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点	があがっていない    会計区分   では、	経費区分 特定財源 一般財源 一般財源 合計 (内会計年度任用職員人件費) 関与正職員数(人) 特定財源 一般財源 合計 (内会計年度任用職員人件費) 関与正職員数(人)	事務事業評 R3 決算 4,446 120 4,566 1.34 5 105 110	業費(千円) R4 決算 4,044 204 <b>4,248</b> 1.03 0 110 110	予算 8,166 1,663 <b>9,829</b> (1,591) 1.45 0 120	方向 D 成果と持 D 成果とも 成果とも	優先 度	施策評価での方向性 D 成果・費用とも維持 D 成果・費用
2	志免町への 対して、まち 志免町の観 会などに参属	事務事業 事務事業の 担当課 まちの魅力発 興味や愛着を高めるたの魅力を発信するイベ まちの魅力推進課 県観光団体参 光情報を広くするため 動する。 まちの魅力推進課	で、成果が名標をは、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点で	があがっていない 本 「会計区分 で町外住民になどを行う。 「一般会計 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	経費区分 特定財源 一般財源 一般財源 合計 (内会計年度任用職員人件費) 関与正職員数(人) 特定財源 一般財源 合計 (内会計年度任用職員人件費) 関与正職員数(人)	事務事業評 R3 決算 4,446 120 4,566 1.34 5 105 110	業費(千円) R4 決算 4,044 204 <b>4,248</b> 1.03 0 110 110	予算 8,166 1,663 <b>9,829</b> (1,591) 1.45 0 120	方向 D 成果と持 D 成果とも 成果とも	優先 度	施策評価での方向性 D 成果・費用とも維持 D 成果・費用
2	<ul><li>一 町が取りが</li><li>志免町への移り</li><li>志免町の観り</li><li>ごルド・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	事務事業 事務事業の担当課 まちの魅力発 高めるたの魅力を発信するイベまちの魅力推進課 保観光団体参 光情報を広くするため画する。まちの魅力推進課 新規事業の方向性 拡充事業の方向性	ず、成果が名標により、 名響・「は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	があがっていない	経費区分 特定財源 一般財源 一般財源 合計 (内会計年度任用職員人件費) 関与正職員数(人) 特定財源 一般財源 合計 (内会計年度任用職員人件費) 関与正職員数(人)	事務事業評 R3 決算 4,446 120 4,566 1.34 5 105 110	業費(千円) R4 決算 4,044 204 <b>4,248</b> 1.03 0 110 110	予算 8,166 1,663 <b>9,829</b> (1,591) 1.45 0 120	方向 D 成果と持 D 成果とも 成果とも	優先 度	施策評価での方向性 D 成果・費用とも維持 D 成果・費用

4-2 ふるさと意識を高める	所管課
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位(53項目中)	<b>计</b>
文化財の保存・活用と伝統文化の継承 47 位 / 8 位	<b>社</b>

	文化財の保存・活用と伝	統文化の継承 47 位		位云教月誅					
	町が取り組むべきこと①	竪坑櫓の適切な保存す。	管理と活用を行い、	その周辺地域	ばとともに歴9	とや文化にふ	れあえる	S拠点 <sup>:</sup>	をつくりま
	主な取り組み状況	・史跡地整備のための測量・設計を行った。							
	課題	・竪坑櫓の歴史につい	ハて、訪れた人が学ぶ	ことができる	る場所が周辺	にない。			
	R6年度取り組み方針	・竪坑櫓の周辺整備に	こついて研究する。						
	町が取り組むべきこと②	地域への愛着や誇り	を育てるため、まちの	)歴史や伝統	文化を継承し	ます。			
	主な取り組み状況	・コロナ禍で歴史講座	と適正な管理保存を行 をは中止となったが、) 目撲などは中止となっ	<b>歴史資料室</b> 0	の企画展示会	・竪坑櫓の特	別公開る	を実施	した。
	課題	・民具や埋蔵文化財を	具や埋蔵文化財を保管している収蔵庫が分散しており、整理が煩雑になっている。						
	R6年度取り組み方針		査研究を進め、公開で と継承のための取組を		整理する。				
			町が取り組むべきことの達成状況						
	<ul><li>一 町が取り組むべきことを実施し、</li><li>一 町が取り組むべきことを実施した</li><li>一 町が取り組むべきことを実施でき</li></ul>	が、成果があがっていない ず、成果があがっていない							
			構成する事務事業(評価						
7F	事務事業	.名		事務事業	半恤( <u>転記)</u> 事業費(千円)			が	<b>西策評価</b>
番号	事務事業の 担当課	概要   会計区分	経費区分	R3 決算	R4 決算	R5 予算	今後の 方向性	優先 度	施策評価での方向性
	伝承文化振興団(	体支援事業	特定財源	0	0	0	D		D
1	地域文化の伝承活動を行いやすく	するために、伝承文化振	一般財源合計	<b>0</b>	0 0	439 <b>439</b>	成果・費 用とも	_	成果·費用
			(内 会計年度任用職員人件費)				維持		とも維持
$\vdash$	社会教育課    一般会計		関与 正職員数(人) 特定財源	0.07	0.08	0.07	D		D
	文化財整備・係	<b>米護事業</b>		3,623	3,636	3,611	U		U
2	文化財が適正に管理・保存される。 の運営や文化財整理を行う。	ように、文化財保護審議会	合計	3,623	3,636	3,611	成果・費用とも	_	成果・費用 とも維持
	社会教育課	一般会計	(内 会計年度任用職員人件費) 関与 正職員数(人)	(1,217) 0.28	(1,204) 0.33	(1,236) 0.36	維持		C C₩E1/1
			特定財源	181,065	3,799	58,032	D		D
	竪坑櫓保存管	[	一般財源	0	164	0			
1	<u> </u>						世田 弗		

合計

(内 会計年度任用職員人件費)

関与 正職員数(人)

特定財源

一般財源

(内 会計年度任用職員人件費)

関与 正職員数(人)

特定財源

一般財源

合計

(内 会計年度任用職員人件費)

関与 正職員数(人)

一般会計

一般会計

一般会計

3

5

化財の調査を行う。

竪坑櫓が適正に保存・管理されるように、補修工事などを行

歴史資料室運営事業

志免町の歴史や文化財の知識を深めることができるよう に、町民に対して、歴史資料室の企画展や文化財ウォーク、 炭鉱かるた大会などを開催する。

発掘調査事業

遺跡や埋蔵文化財が適切に記録保存されるように、埋蔵文

社会教育課

社会教育課

社会教育課

3,964

0.28

608

608

0.30

455

455

0.37

0

181,065

0.34

651

651

0.29

443

443

0.29

0

0

成果·費

用とも

維持

D

成果·費

用とも

維持

D

成果·費

用とも

維持

0

成果·費用

とも維持

成果·費用

とも維持

D

成果·費用

とも維持

58,032

0.31

446

446

0.27

67

610

677

0.35

0

### 施策4

		町が取り組むん	町が取り組むべきことを構成する事業の方向性				
ビルド	新規事業の方向性や内容						
C/V *	拡充事業の方向性や内容	なし					
スクラップ	廃止事業の方向性や内容	なし					
X7377	縮小事業の方向性や内容	なし					
R6年度の町が取り組むべきことの方向性			□ 最優先 □ 優先 ☑ 維持				

4-3 地域の商工業と新たな創業者の育成を支援する	所管課
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位(53項目中) 地域の商工業と新たな創業者の育成支援 46 位 / 44 位	まちの魅力推進課

	町が取り	組むべきこと①			で策定した創業支援 信を行います。【総合		つさ、商工会	どの連携に	よる町で	100新7	こな剧業者
	主な	取り組み状況	・3町(宇	美·志免·須	恵)合同の創業支援に	関する「起業	塾」を開催し	た。			
		課題	なし								
	R6年	度取り組み方針	・引き続き	き、3町合同	の創業支援に関する	「起業塾」を行	iò.				
	町が取り	組むべきこと②		業者の創業 ます。【総合	や事業拡大への町有 戦略】	地や公共施設	段の利活用を	促進する機会	会をつく	り、事	業者の育成
	主な	取り組み状況	・総合福	祉施設内レス	ストランの利用につい	て、チャレンシ	ブショップとし	ての運営が	で可能から	商工会	と協議し
		課題	·町有地 <sup>·</sup>	や公共施設で	で利活用できる場所が	が特定できな	۱۱.				
	R6年	度取り組み方針	・引き続き	き、町有地や	公共施設で利活用で	きる場所を検	食討する。				
	町が取り	組むべきこと③	地域の商	五業の維持	と充実に向けた支援	を行います。					
	主な	取り組み状況	・商工会の他、本	が実施したこ 事業に関する	プレミアム付電子商品 る周知や問合せ対応な	券「しめPay」 を行った。	について、フ	プレミアム分え	及び事務	費を支	援した。そ
		課題	・商工会	から、商工会	が管理する街路灯の	維持管理費用	月について支	援を求められ	れている	0	
	R6年	度取り組み方針	・今後の ・街路灯	新型コロナウ については、	ッイルス感染症の地域 管理や費用について	経済への影響 引き続き協請	響を考慮し、事 養を行う。	喜業を実施す	<sup>-</sup> る。		
_					<u> </u>	この達成状況					
Ŀ		組むべきことを実施し、 組むべきことを実施した			けている						
		組むべきことを実施でき									
		事務事業	-Ø	植	構成する事務事業(評価	西対象事業のみ)	//# / #==== \			107	
番号		<del>事物事素</del> 事務事業の			事務事業評価(転記) 事業費(千円)				今後の	優先	競評価 施策評価
号		担当課	1M <del>S</del>	会計区分	経費区分	R3 決算	R4 決算	R5 予算	方向性	度	での方向性
			車業	五可区刀	特定財源	136,975	42,909	11,700	D		D
		问工未又派	<b>(尹木</b>		一般財源	16,224	16,407	48,860	战田,费		
1		事業活動を行いやすく 、補助金の交付などを行		志免町商工	合計	153,199	59,316	60,560	HC O	0	成果・費用 とも維持
		まちの魅力推進課	<u> </u>	一般会計	(内 会計年度任用職員人件費) 関与 正職員数(人)	1.15	0.97	1.00	維持		0 (141)
				町が取り	<i>り組むべきことを構成</i>	なする事業の たんこう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	方向性				
	ビルド	新規事業の方向性	生や内容	なし							
		拡充事業の方向性	生や内容	なし							
ノス	スクラップ	廃止事業の方向性	生や内容	なし							
		縮小事業の方向性	生や内容	なし							
	R6±	<b> </b>   再度の町が取り組む	ごべきこと	の方向性	□ 最優先 □ 優先 □ 維持						

4-4 適切な農業のあり方を確立する	所管課
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位(53項目中)	都市整備課
農業の支援 43 位 / 45 位	他们金洲球

	町が取り組むべきこと①	県や粕屋農業協同組合と一体となって、新規就農希望者が就農しやすい環境づくりを行います。
	主な取り組み状況	・福岡県普及指導センター、志免町、農協で、新規就農の相談があれば情報を共有することとしているが、相談がなかった。
	課題	・志免町内の農地面積は、減少傾向にあり、新規就農する方に農地を貸借できる農地が見つからない。
	R6年度取り組み方針	・福岡県普及指導センター、志免町、農協で、新規就農の相談があれば情報を共有し、就農に結びつける。
	町が取り組むべきこと②	「農地等の利用の最適化の推進に関する指針」に基づき、農業委員会と連携して遊休農地の解消や担い 手への農地利用集積、新規参入の促進を行います。
	主な取り組み状況	・農業委員会で農地パトロールを行い、遊休農地や荒廃農地の判断をした。また、再生困難な農地に対しては、非農地決定を行った。
	課題	・志免町内の農地面積は、減少傾向にあり、新規就農する方に農地を貸借できる農地が見つからない。
	R6年度取り組み方針	・農業委員会で農地パトロールを行い、遊休農地や荒廃農地の判断する。新規参入の促進として、新規就農相談会を農業委員会と連携して行う。
	町が取り組むべきこと③	国や県の政策に応じて、地元の農産物にふれることができるよう、ソフトとハードの両面から農業を支援 します。
	主な取り組み状況	・国や県のソフトメニューの補助については、福岡県普及指導センター、志免町、農協で情報共有し、農協が主体で農家へ情報提供した。 ・ハード事業については、町が主体となり、地元と協議を行い実施した。また、国及び県の補助事業については、県と協議を行った。
	課題	・補助対象農家が少なく、国、県のソフトの補助メニューはあるが、交付対象者が少ない為、利用できない。
	R6年度取り組み方針	・国や県のソフトメニューの補助については、福岡県普及指導センター、志免町、農協で情報共有し、農協が主体で農家へ情報提供する。 ・引き続きハード事業については、町が主体となり、地元と協議を行い実施する。また、国及び県の補助事業については、県と協議を行う。
		町が取り組むべきことの達成状況
[.	町が取り組むべきことを実施し、	ほぼ目標どおりの成果をあげている
	町が取り組むべきことを実施した	が、成果があがっていない
	町が取り組むべきことを実施でき	ず、成果があがっていない

		構成する事務事業(評f					+/			
377	事務事業名		事務事業語	半伽(転記 <i>)</i> 事業費(千円)			力	<b>施策評価</b>		
番号	事務事業の概要 担当課	経費区分	R3 決算	<del>P未貝(T口)</del> R4 決算	R5 予算	今後の 方向性	優先 度	施策評価 での方向性		
	<u> </u>	特定財源	<del>//并</del> 0	<del>//并</del> 0	0	D		D		
	吉原農区活性化事業(吉原農区活性化基金積立金)	一般財源	0	0	0					
1	吉原農区活性化推進のために、吉原農区活性化基金の管理 を行う。	合計	0	0	0	成果・費用とも	_	成果・費用 とも維持		
		(内 会計年度任用職員人件費)	0.01	0.01	0.01	維持		20,421,5		
		関与 正職員数(人) 特定財源	0.01	0.01	0.01	D		D		
	糟屋地域農業振興連絡協議会参画事業	一般財源	165	324	440					
2	糟屋地区の農業経営の継続的発展と町民へ地産地消の意識 づけを図るために、糟屋地域農業振興連絡協議会に参画す	合計	165	324		成果・費用とも	_	成果・費用 とも維持		
	る。 都市整備課 一般会計	(内 会計年度任用職員人件費) 関与 正職員数(人)	0.35	0.42	0.42	維持		20,421,5		
		特定財源	223	223	223	D		D		
	農区等支援事業	一般財源	1,934	2,044	2,128					
3	農区・農家間での連携強化や地域農業経営力強化を図るために、農区や農事組合に対して、会議の開催や補助金の交付	合計	2,157	2,267	,	成果・費用とも	-	成果・費用 とも維持		
	などを行う。	(内 会計年度任用職員人件費)	0.40	0.40	0.42	維持		C Ο ΜΕΙ 10		
	都市整備課    一般会計	関与 正職員数(人) 特定財源	0.48	0.42	0.43	D		D		
	早期水稲苗育成助成事業	一般財源	752	736	790	<u> </u>	1			
4	取水期をずらし、安定的な農業用水の確保のために、極早生水稲作付農家に対して、補助金の交付を行う。	合計	752	736		成果・費 用とも	_	成果・費用 とも維持		
		(内 会計年度任用職員人件費)	0.00	0.00	0.00	維持		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		
-	都市整備課    一般会計		0.23	0.23	0.23 1,900			D		
	農業用施設維持管理事業	特定財源  一般財源	5,246	1,760 4,669	4,859	D		D D		
5	農業用施設等の機能が良好に保たれるように、農業用施設	合計	5,246	6,429		成果・費 用とも	0	成果·費用		
	の修繕や新設・改良工事などを行う。	(内 会計年度任用職員人件費)				維持		とも維持		
	都市整備課     一般会計	関与 正職員数(人)	0.29	0.30	0.40					
	農業用水門整備事業	特定財源		0	-	_				
	反朱巾小 ] 正州学未	一般財源		7,700	-					
6	水門整備が必要な箇所の整備が完了するよう工事を行う。	<b>合計</b> (内 会計年度任用職員人件費)	0	7,700	-	休止·廃 止済				
	   都市整備課   一般会計	関与 正職員数(人)		0.12	-					
		特定財源	328	327	400	D		D		
	農業用井堰管理事業	一般財源	1,130	1,499	4,228					
7	農業用水が確保できるように、井堰の点検や修繕を行う。	合計	1,458	1,826	4,628	成果・費用とも維持	_	成果・費用 とも維持		
	   都市整備課   一般会計	(内 会計年度任用職員人件費) 関与 正職員数(人)	0.31	0.34	0.34	水 <b>厂</b> 【寸		_ 5,,,,,,		
_		特定財源	0.51	0.54	0.54	D		D		
	ファミリー農園管理事業	一般財源	5,064	4,340	4,363					
8	農地が適切に保全されるように、対象の農地をファミリー農 園として管理する。	合計	5,064	4,340	4,363	成果・費用とも	Δ	成果・費用 とも維持		
	都市整備課 一般会計	(内 会計年度任用職員人件費) 関与 正職員数(人)	0.35	0.36	0.41	維持		_ C (1417.1		
-		特定財源	5,806	4,870	- 0.41					
	吉原農区活性化事業	一般財源	0	0	-					
9	安定的・効率的な農業経営が営まれるように、吉原地区農地 に対して、用水路や水門の整備を行う。	合計	5,806	4,870	-	休止·廃 止済				
		(内 会計年度任用職員人件費) 関与 正職員数(人)	0.20	0.24	-	//				
	都市整備課 一般会計	り組むべきことを構成			-					
	新規事業の方向性や内容なし	り組むべきことを構成	<u> X 9 る争未の</u>	刀凹土						
	ビルド									
	拡充事業の方向性や内容はし									
	廃止事業の方向性や内容 なし									
\   	クラップ 縮小事業の方向性や内容 なし	なし								
	R6年度の町が取り組むべきことの方向性	□ 最優先 □ 優先 □ 維持								

#### 3. 施策の総括と今後の展開

成果指標「志免町に愛着がある」と答えた町民の割合は、8割を超えている。昨年度よりやや減少しているが目標を上回っており、引き続きイベントや広報活動を通して、まちへの愛着や誇り、郷土愛を醸成していきたい。 商工業については、成果指標「起業塾の参加者」はここ数年伸びており、新型コロナウイルス感染症対策として、消費喚起や商

工業支援としてのプレミアム付電子商品券事業は概ね好評である。アフターコロナとして、商エイベントも再開されることが予想されるため、町としても適宜支援していきたい。 農業については、町内の農地は福岡市に隣接し、農地転用が盛んに行われているため、年々減少傾向にある。その中で農地と

して維持される農家へは、確かな支援を農協等と連携し行う。

1	施策の進行	十十二
4.	加東リル 11	<b>4Λ λπ.</b>

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
│
目標に向かってあまり進んでいない
目標に向かって進んでいない

[福岡県志免町]

基本性	青報	√令	和04年度 実施計画事業				事務事業コード	0404101
Ę	事務事業名		まちの魅力発信事業	1	担当課	まちの魅力推進課	担当係	まちの魅力づくり係
総合計画系	施策	04	まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興	予算	会計 款	01 一般会計 02 総務費		
計 画 系	取り組み方針	4-1	まちの魅力を発信する	科目	項 目	03 企画費 01 企画総務費	<u> </u>	
根拠法令条例等				個	別計画			
実施	期間 🖂 04	1年度の	Dみ ☑単年度繰返 H 28 年度より開始	<b>H</b>		□期間限定(複数年	(年度~	- 年度

# 1 計画・実施(PLAN・DO) (1)事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的		対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)			
	①対象 (誰を、何を)	⑦町民	人	46,518	46,631	46,532			
		① 町外住民(国民)	千人	125,502	124,947	124,394			
		( <del>)</del>							
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・町の魅力を感じることができる							
事業内容	まちの魅力を再確認し、対外的にPRするための事業を行う ・まちの魅力発信イベントの開催(ともにともそうプロジェクト、アビスパ福岡志免町応援デー) ・企業や団体とのイベント開催などの連絡調整								

#### (2)指標達成状況

(4/1		7770							
	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	まちの魅力発信イベント開催数	1	回	目標 実績	2	2	2	100.0%
1	活動		<b>1</b>	———— 件	目標	2	2	2	100.0%
'	70 = 27	正木・四件でジュッハ正国数	'		実績目標	1,500	1,350	1,500	
ウ	成果	まちの魅力発信イベント参加者数	1	人	実績	1,930	1,650		122.2%
I	成果	企業や団体とのコラボ企画参加者数	1	人	目標	7	7	7	100.0%
					実績目標	.7	.7		
才					実績				
カ					目標				
/ / /					実績				

#### (3) 総事業費の推移

(3)													
		財源内訳(単位	:千円)	03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)				
				(决异但)	(ヨ物丁昇)	(沃昇胆)	(ヨ物丁昇)	(計画)	(計画)				
		国·県支出á		0	601	0	0						
事		受益者	負担	0	0	0	0						
業	経	その他特	定財源	4,446	3,409	4,044	1,900						
*	費	一般則	才源	120	39	204	7,929						
費		合計(	(A)	4,566	4,049	4,248	9,829	4,049					
		(内 会計年度任)	用職員人件費)				1,591						
		正職員人件費[按	分](B)	10,103	9,945	7,878	11,237						
		トータルコスト( <i>A</i>	/)+(B)	14,669	13,994	12,126	21,066						
関	与職員	員数(単位:人)	正職員	1.34	1.30	1.03	1.45						

#### (4)環境変化·住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
第5次志免町総合計画後期基本計画で「まちの魅力発信」という取り組み方針が立てられ、平成28年4月に「まちの魅力推進課」が発足し事業を開始した。	国の地方創生事業推進により、全国の多くの自治体がPR活動や移住政策を活発化している。志免町も人口増加の現状に甘んじることなく、まちの魅力を発信し、ふるさと意識を高め、定住化を促進する必要がある。	議員や住民団体などは「まちの魅力」「まちの元気づくり」について関心が高い。

2	2 分析·検証(CHECK)															
			価の視点				項	目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定						
			まへの貢			貢献度	高い		町民が住み続けたいと思える魅力と活力のあるまちづくりを行うため							
	(事)	8事業	の成果がよの実現に直	上位施策は	の z	貢献度	きふつう		には、町内外の人に魅力を感じてもらうことが不可欠である。							
	か)	19女(	の大坑に巨	Ma O C C I		貢献度	延低い しょうしん									
妥	意	図のj	適切性		<b>✓</b>	妥当で	:ある		まちの魅力を発信することは、総合計画施策4「まちの魅力の向上と歴							
妥当性	(総1	合計画	、町民の二	ーズ、法	令	検討の	余地が	ある	↑史文化・産業の振興」で町が取り組むべきことに明記されているため妥 - 当である。	3						
性	か)	. X) U (	、意図が通	1147 C.004		検討の	余地が	多い	$\exists \ \mathcal{C} \mathcal{O} \mathcal{D}_{\mathcal{O}}$							
	自	台体	関与の必	要性	<b>✓</b>	妥当で	: ある		町が、町内外を問わず広く志免町の魅力を発信するためのものであり、							
	(自)	台体が	主体で取組	且むべき!	<b>₽</b> □	検討の	余地が	ある	▼妥当である。ともにともそうプロジェクトでは、住民団体の協力を得て ■開催している。							
	業か	、住民	参画の余地	也はない	か)	検討の	余地が	多い	開催している。							
	成	果の「	句上余地		<b>✓</b>	期待す	る成果	が得られている	新型コロナウイルス感染症の拡大による非常時のため、イベント等の中							
			成果を得ら			成果の	)向上余	地がややある	↑止・縮小を余儀なくされたが、成果は達成できた。コロナ後は、多方面に ・新たな取り組み内容を実施していきたい。							
	仮料		の风未での	リる赤地		成果の	)向上余	地が多い	<b>「</b> 利にな取り組の内合を美施していさだい。 							
有	- 対	象のi	適切性		<b>✓</b>	適切で	ある		町が、町内外を問わず広く志免町の魅力を発信するためのものであり、							
效	(意	意図を達成するうえで、現状の 象設定が最も有効か、他に有					余地が	ややある	適切である。	2						
性	対象	対象:	が最も有効	か、他にか) か)		改善の	余地が	多い	1							
	手	役の記	適切性			適切で	ある		新型コロナウイルス感染症拡大前は、イベントを中心にまちの魅力発信を行って							
			成するうえ			改善の	余地が	ややある	きたが、感染症の影響でイベントの中止・縮小をせざるを得なかった。今後は、 SNSやメディアを通したまちの魅力発信にも力を入れていきたい。							
		はない	も有効か、他 ハか)	BIC (HXII)		改善の	余地が	多い	Sito ( ) () The Cale of Cost Supply State Cost Cost Cost Cost Cost Cost Cost Cost							
	業	多のす	効率化		<b>✓</b>	]効率的	うである		必要最低限の人員で実施し、業務手順も簡素化しているため効率的で							
	(業)	<b>務手順</b>	ī、関与職員	人数につ	ou [	改善の	余地が	ややある	ある。							
	て見	直しの	り余地はなり	いか)		改善の	余地が	多い								
效	投	入コン	ストの適切	刀性	<b>✓</b>	適切で	: ある		必要最低限のコストで実施している。プロモーション事業の規模とコスト							
率	(北	入する	コストは適	正か、削	減	□改善の余地がややある			は比例するが、手法等を検討しコスト削減に努めている。	3						
性	の余	地は	ないか)			改善の	余地が	多い								
	財》	原確信	呆の適切	性	~	]適切で	ある		国・県等の補助金はなく、広くまちの魅力を発信するため受益者負担を							
	(受	益者負	担は適正か	い、国、県	等	改善の	余地が	ややある	求める事業ではない。また、おうえん基金や新型コロナウイルス感染症に関する臨時特別給付金等を充てているため、一般財源のコストは最人							
	の補	助等	はないか)			改善の	余地が		限に抑えられている。							
			_		妥	当性			検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)							
				0点	1点	2点	3点	今年度も、新型	コロナウイルス感染症対策のため、規模を縮小し又は感染症対策を講じた内容に変 を実施した。九州朝日放送と協力しまちの魅力発信を行うプロジェクト「ふるさとW	変更し Vich						
		ι	\ずれか0点	d	С	С	С	では、シルバー	人材センターや住民団体の活動紹介など、新たな分野から様々な町の情報や志免町	町の良						
		有						さを発信するこ	ことができた。また、ふるさと納税の返礼品となっている町公式キャラクター(シメッ	チャ)						
	分   析	効性	\ずれか1点	С	С	С	С	アビスパ福岡と	)販売を開始し広報したところ、34個を売り上げることができた。 の事業として「志免町応援デー」を実施し、町と商工会のブースを設け、まちのPR							
		·   1	合計4点	С	С	b	b		しては町長から直接メッセージを発信した。また、町民350名を招待し、町オリジナ fけて観戦することによるシビックプライドの醸成を図った。	トル						
ı	検 証	効率性	合計5点	С	b	b	а									
	結 果		合計6点	С	b	а	а									
-	^	'	-11 O/M	J	<i>-</i>	J	<u> </u>									
	る 業務の内容は適切で ある															

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

				コストの	)方向性	ŧ	成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		$\overline{}$	皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後	成果の	維持		Е	D		
の方向性	成果の方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
		O	成果	・費用	とも糸	推持	

[福岡県志免町]

基本性	青報	□令	和04年度 実施計画事業 □総合戦略該当事業					事務事業コード	0404102
Ę	事務事業名		県観光団体参画事業	1	担当課	まちの魅力推進課		担当係	まちの魅力づくり係
総体合計	施策	04	まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興	予算	会計款	01 07	一般会計 商工費		
計画系	取り組み方針	4-1	まちの魅力を発信する	科目	項 目		商工費 商工総務費		
根拠法令条例等				個	別計画				
実施	期間 🔲 04	年度の	Dみ	台		□期間	引限定(複数年	) 年度~	4 年度

# 1 計画・実施(PLAN・DO) (1) 事務事業の目的と事業内容

	サガサ米 グロロ (こ サ米ド)					
事務事業の目的		対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
	①対象 _ ( )	⑦ 加盟団体	団体	3	3	3
	(誰を、何を)	0				
		<b>⊙</b>				
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	志免町の観光情報等のPRが行われる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	観光資源の宣伝及び観光客の誘致促進を行う県観光団体へ加入し、情報・加盟団体への負担金支払事務・食の魅力を発見するデジタル・会議等への参加・発信情報の提供	収集や	や町の情報 レットの(	报提供を行 作成	ŢÒ

#### (2)指標達成状況

	種別	指標名	<sup>目指すべき</sup> 方向性	単位		03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	   負担金交付団体数	<b>1</b>	団体	目標	3	3	3	100.0%
,	口到	只是並又的四件数	I	四件	実績	3	3		100.076
1	活動	会議等へ参加回数	<b>1</b>	回	目標	3	3	3	100.0%
1	口到	大 <u>概</u> 夺八多加四数	I	ы	実績	3	3		100.076
ゥ	成果	クロスロードふくおか(ホームページ)掲載件	<b>1</b>	件	目標	9	9	9	100.0%
	以木	数	I	TT.	実績	9	9		100.076
エ	成果	福岡よかとこ.COM(ホームページ)掲載件	<b>1</b>	件	目標	12	12	12	100.0%
	13.K	数	I	П	実績	12	12		100.076
<b>オ</b>					目標				
~1					実績				
カ					目標				
//					実績				

#### (3) 総事業費の推移

		財源内訳(単位	:千円)	03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
		国·県支出金	<b>会、地方債</b>	5	0	0	0		
事	4-	受益者	負担	0	0	0	0		
業	経	その他特	定財源	0	0	0	0		
未	費	一般則	才源	105	120	110	120		
費		合計(	(A)	110	120	110	120		
		(内 会計年度任)	用職員人件費)						
		正職員人件費[按	分](B)	1,134	3,217	1,839	2,560		
		トータルコスト(A	()+(B)	1,244	3,337	1,949	2,680		
関	与職員	員数(単位:人)	正職員	0.15	0.42	0.24	0.33		

### (4)環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
	観光に関する情報がネットや雑誌で数多く 発信されるようになってきた。	町を観光で町外にアピールすべきとの要望 はある。また、竪坑櫓以外の観光資源はない かとの意見もある。

2 分析・検証(CHECK)

2 3		・検証(Cl	_	()					
		評価の視り				項	目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
	上位	施策への貢	献度		✓ 貢献度	寝高い		まちのスポットやイベント等の情報発信が、活力あるまちや住み続けた	
(1	事務	事業の成果が <sub>-</sub> 姿の実現に直	上位施策	の	□貢献度	きふつう		いと思えるまちに結びつけているため、貢献度は高い。	
か		女の大坑に巨	. <b>ж</b> д О С V	۱,۵	□貢献度	医低い			
妥意	シ図	の適切性			✓妥当で	ある		まちに訪れてもらい賑わいを生み出すためには、様々な方たちで情報	
		計画、町民の二			□検討σ	余地が	ある	発信が必要のため妥当である。	3
	),) L(X)	して、意図が近	<u> </u>	ව	□検討σ	)余地が	多い		
É	自治	体関与の必	要性		☑妥当で	ある		県の観光団体が県内市町村のPRをしており、町が取り組む事業と考え	
(1	自治体	本が主体で取締	狙むべき	事	□検討σ	)余地が	ある	ేం.	
業	美か、信	住民参画の余り	地はない	いか)	□検討     σ	余地が	多い		
瓦	成果(	の向上余地	ļ		□期待す	る成果	が得られている	今年度はドライブスタンプラリーが行われたが、他にも新たな魅力発信	
		する成果を得ら			☑成果Œ	)向上余	地がややある	の企画等を行うことができる。	
	あるか		いの坐れ	B/Jv =	□成果σ	)向上余	地が多い		
有	付象(	の適切性			☑適切で	ある		現段階では現協会以外の負担金はなく、町の観光情報等を発信してい	
効り		を達成するうえ			□ 改善 <i>σ</i>	余地が	ややある	るため適切である。	2
		定が最も有効 象設定はない		.有	□ 改善 <i>σ</i>	余地が	多い		
目	手段(	の適切性			☑適切で	ある		町単独で行うより、県やほかの観光団体が行う方が、より多くの人に届	
		を達成するうえ			□ 改善 <i>σ</i>	余地が	ややある	けることができ、適切である。	
		最も有効か、化 ないか)	凹に有効	الم	□ 改善Œ	)余地が	多い		
弟	業務(	の効率化				りである		必要最低限の業務を行っており、効率的である	
( )	業務	手順、関与職員	人数に	つい	□ 改善Œ	)余地が	ややある		
7	見直	しの余地はな	いか)		□ 改善Œ	)余地が	多い		
効 <sup>书</sup>	殳入.	コストの適 <sup>t</sup>	刃性		☑適切で	ゔある		各協会等の負担金のためと投入コストは適正である。	
率 (3	投入了	するコストは適	正か、肖	<b>川減</b>	□ 改善 <i>σ</i>	)余地が	ややある		3
性の	)余地	はないか)			□ 改善σ	余地が	多い		
貝	け源	確保の適切	性		☑適切で	ある		全て一般財源で、国・県の補助はない。	
(3	受益者	<b>皆負担は適正</b> が	か、国、県	等	□改善の	余地が	ややある		
$\sigma$	)補助	等はないか)			□改善の	)余地が			
				3	妥当性			検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)	
			0点	15	点 2点	3点		イルスの影響で低迷していた宿泊施設に宿泊客が戻りつつあるため、令和 ************************************	
		いずれか0点	d	С	С	С	皮の佰冶柷は   とができた  ‡	前年度より大幅に増加し、観光客を志免町に呼び込むための事業費に充て 5免町に立ち寄り、より長時間滞在してもらうために、町内の飲食店、施設・	くるこ
	有			H				3元前に立う前り、より及時間滞在してもうりために、両内の飲食店、旭畝 てさらに広く情報発信していく必要がある。	\ 1' \
分	効性	いずれか1点	С	С	: С	С			
析	性	合計4点	С	С	: b	b			
検	効	]	C						
証	率性	合計5点	С	b	b	a			
結果		合計6点	С	b	а	а			
未		디미디제	C	U	a	a			
		a	業務ある		内容は適	切で			

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

<u> </u>	) D   () (	01101	1/ L.	ו ווויכל	人吐巾口	/\ C (	ことにひり上皮以降の外にのは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで
			-	コストの	D方向性	ŧ	成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後の	成果の方向性	維持		Е	D		
今後の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
	[	)	成果	•費用	とも終	辪	

[福岡県志免町]

基本性	青報	√令	和04年度 実施計画事業	□総合戦略該当事業					事務事業コード	0404301
Ę.	事務事業名		商工業支援事	業 ————————————————————————————————————	扌	旦当課	まちの	)魅力推進課	担当係	まちの魅力づくり係
総体合	施策	04	まちの魅力の向上と歴史文	化・産業の振興	予. 算	会計 款	01 07	一般会計 商工費		
合計画系	取り組み方針	4-3	地域の商工業と新たな創業	者の育成を支援す	科目	項	01	商工費		
凹水	4人 ン小江(ノノコル)		る			目	02	商工業振興	費	
根挑	処法令条例等		志免町商工会事業費補助	金交付要綱	個	別計画				
実施	期間 🗆 🗆 04	1年度0	かみ ダ単年度繰返	区 不明 年度より開始	台		□ 期間	引限定(複数年	) 年度~	午度 年度

# 1 計画・実施(PLAN・DO) (1)事務事業の目的と事業内容

_		対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
事	①対象	⑦ 志免町商工会	団体	1	1	1
労主	(誰を、何を)	② 志免町料飲店組合	団体	1	1	1
務事業		😊 町内商工業事業者(商工会登録事業所)	事業所	959	957	960
の目的	②意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	・様々な事業活動を行うことができる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動		ブランド エア出展	PR等の協	協力	

#### (2)指標達成状況

(4/)		7776							
	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	補助金額	<b>1</b>	千円	目標	16,200	30,500	28,400	194.5%
	7423	110-73-112-173	'	113	実績	16,200	59,313		13 11370
1	活動	商工会との当課関連事業連携回数(イベント	<b>1</b>		目標	5	7	7	100.0%
1	/口到	参加等)	ı	<u>П</u>	実績	7	7		100.076
ゥ	成果	  商工会が行う中小企業に対する事業件数	<b>1</b>	件	目標	31	34	33	91.2%
	以木	同工会がリプテ小正来に対する事業件数	ı	Н	実績	29	31		91.270
I	成果	  商工会が行う社会福祉活動件数	<b>1</b>	件	目標	9	9	9	100.0%
	PA.A.		ı	11	実績	7	9		100.070
<b>オ</b>	成果	  料飲店組合活動事業件数	<b>1</b>	件	目標	4	4	4	100.0%
~1	从木		ı	- 11	実績	4	4		100.070
カ					目標				
73					実績				

#### (3)総事業費の推移

		財源内訳(単位	:千円)	03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
		国·県支出金	念、地方債	0	0	0	0		
事	4-	受益者	負担	0	0	0	0		
業	経	その他特	定財源	136,975	14,200	42,909	11,700		
未	費	一般則	才源	16,224	16,300	16,407	48,860		
費		合計(	(A)	153,199	30,500	59,316	60,560	16,300	
		(内 会計年度任)	用職員人件費)						
		正職員人件費[按	分](B)	8,671	12,094	7,424	7,750		
		トータルコスト( <i>A</i>	v)+(B)	161,870	42,594	66,740	68,310		
関	与職員	員数(単位:人)	正職員	1.15	1.58	0.97	1.00		

#### (4)環境変化·住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
町内の商工業を活性化させるため。	近年の技術革新の進展やそれに伴う国際競争力の激化に伴い、生産性の短期間向上を目的とした事業が国から県市町村に下りてきている。	商工会からは、花火事業のための補助金増
志免町商工会は商工活動の振興に携わるため昭和22年に設立。	新型コロナウイルスの発生により町内中小企業への景気対策事業が国・県から下りてきている。	額の要望があっている。

2	分	折・柞	検証(Ch	HECK	()					
		評	価の視点	듰			項	目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
	上位	立施	策への貢	献度		<b>夕貢献度</b>	高い		事業及び活動の件数が昨年度の実績と比べ同等以上であり、地域経済	
			の成果が」			貢献度	きふつう		<b>】</b> の活性化の推進と人々の交流が活発になってきたことに結びついてい	
	かり	9 安(	の実現に直	作してい	,a [	]貢献度	延低い しょうしん		ేం.	
妥	意图	図の)	適切性			☑妥当で	ある		上位施策の地域経済の活性化の推進と人々の交流が盛んで活力あるま	1
当	(総合	動信	・町民の二	ーズ、法	令 [	一検討の	余地が	ある	ちを目指すためには、商工業の様々な事業活動を展開することが必要	3
性	寺に か)	対し	て、意図が通	15切ぐめ・	<u>ء</u> [	一検討の	余地が	多い	- であるため適切である。	
	自治	台体	関与の必	要性			ある		商工業活動の活性化は町の活性化にもつながるため、町主体の関与が	
	(白流	台体カ	(主体で取組	おべき	<b>#</b> [	一検討の	余地が	ある	妥当である。	
			で参画の余り			一検討の	余地が	多い		
	成界	見のI	句上余地			期待す	る成果	が得られている	町内の産業支援や地場産業の維持及び充実については様々な手法があ	
			成果を得ら			√成果の	向上弁	き地がややある	ると思われる。	
	後期ある		る成果をあ	ける余地	BD [	一成果の	向上弁	≑地が多い		
有	対象	との)	適切性			✓適切で	ある		事務事業の目的を達成するには、この団体が最も有効である。	
効	(意图	図を遺	成するうえ	で、現状	(の [	〕改善の	余地が	ややある		2
性	対家 効な	設定 対象	が最も有効 設定はない	か、他に か)	<sup>有</sup> [	〕改善の	余地が	多い		
	手段	分の)	適切性			✓適切で	ある		商工会法により商工会が設置されており、この手段が最も有効である。	
			成するうえ			] 改善の	余地が	ややある	]	
			も有効か、作 いか)	凹に有効	ر ا	改善の	余地が	多い		
	業務	多の	効率化			<b>夕</b> 効率的	]である		補助金交付の業務が主であるため、効率的に行える。	
	(業剤	务手順	頁、関与職員	人数にこ	ou [	一改善の	余地が	ややある	]	
	て見	直して	の余地はなり	いか)	[	改善の	余地が	多い	]	
効	投力	(コ:	ストの適切	刃性		√ 適切で	ある		商工会、料飲店組合は、町の補助金以上に事業費を投入し、地域経済の	
率性	(投)		コストは適	正か、削	減	一改善の	余地が	ややある	活性化を推進しているため、町の投入コストは適切である。	3
性	の余	地は	ないか)			改善の	余地が	多い		
	財源	原確何	保の適切	性	[	☑適切で	ある		商品券事業について一部県からの補助があり、そのほかは、国補助の地	
			担は適正だ	い、国、県	等 [	一改善の	余地が	ややある	方創生臨時交付金充てている。	
	の補	助等	はないか)			」改善の	余地が	多い		
		/	/		3	当性			検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)	
				0点	1点	2点	3点	新型コロナウィ	イルスの影響はややあったものの、商工会として企画・参加するイベントは原	惑染 
		ı	ハずれか0点	d	С	C	С		ながらほぼ例年どおり実施できた。3町(宇美・志免・須恵)合同の創業支援 は昨年度に引き続き開催でき、昨年は開催できなかった事業者同士の交派	
		有				+			はアーダにうされど開催とといい中は開催ととなりった事業自内エの文が また、町村フェアは3年ぶりに開催され、町のPRをすることができた。商品	
	ת (כי	効し	ハずれか1点	С	С	С	С	行事業では、初	刃めて電子商品券を発行し、新型コロナ対応地方創生臨時交付金を活用で	きた
1	斤	性一	合計4点	С	С	b	b	ため、ブレミア	'ム率も20%から30%へ引き上げた。商工会、加盟店舗ともに事務負担カ らも使いやすいとの声が多く寄せられた。高齢者をはじめスマートフォン操	・軽減
<b>★</b>		効 🗕	HB1 17///		Ľ		~	苦手な方に説	りも使いてすいこの声が多く奇せられた。高齢者をはしめスマードフォン保 明会や窓口でフォローを行った。	1F/J'
1 1	Ε	率 性	合計5点	С	b	b	а			
計	吉見		合計6点	С	b	а	а			
			a	業務ある	の内	容は適	切で			

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

<u> </u>	1						成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
				コストの	)方向性	Ē	INVICANDE AND A HEAD WIND CAMPIAN
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後	成果の方向性	維持		Е	D		
の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
	[	)	成果	・費用	とも終	辪	

[福岡県志免町]

基本性	青報	令	和04年度 実施計画事業 二総合戦略該当事業					事務事業コード	1204401
i ili	<b>事務事業名</b>	吉原	農区活性化事業(吉原農区活性化基金積立金)		担当課	生	活安全課	担当係	生活環境係
4/A /L				~	会計	01	一般会計		
総合 計画 系	施策	04	まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興	予算	款	06	農林水産業	費	
計 二	Bn/1607. →Al	1 1		科目	項	01	農業費		
曲糸	以り組み力針	4-4	適切な農業のあり方を確立する	IĦ	目	07	吉原農区活	性化事業費	
根挑	见法令条例等	吉原原	 農区活性化整備基金条例	個	別計画				
実施期間 □04年度のみ □単年度繰返 H 22 年度より開始 □期間限定(複数年) 年						=) 年度~	· 年度		

# 1 計画・実施(PLAN・DO) (1)事務事業の目的と事業内容

		対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
事	①対象	⑦ 吉原農区活性化基金	千円	26,311	21,441	21,441
事務事業	(誰を、何を)	<b>(1)</b>				
業		(b)				
の目的	②意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	・吉原農区活性化推進を目的に活用される				
	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	吉原農区活性化を目的とした事業に基金の繰入を行う ・基金繰入事務				

#### (2)指標達成状況

(4/1		7,770							
	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	基金繰入事務	1	件	目標 実績	1	1	0	100.0%
1	成果		<b>1</b>	千円	目標	7,000	6,500	0	74.9%
	13001	<b>全亚州八</b> 田	'	113	実績 目標	5,805	4,869		7-1.570
ウ					実績				
エ					目標 実績				
才					目標				
					実績目標				
カ					実績				

#### (3) 総事業費の推移

(3)	心中木	貝の月田が					-		
		財源内訳(単位	:千円)	03年度	04年度	04年度	05年度	06年度	07年度
			- 113/	(決算値)	(当初予算)	(決算値)	(当初予算)	(計画)	(計画)
		国·県支出金	<b>&amp;、地方債</b>	0	0	0	0		
事	4.77	受益者	負担	0	0	0	0		
業	経	その他特	定財源	0	0	0	0		
未	費	一般則	才源	0	0	0	0		
費		合計(		0	0	0	0		
		(内 会計年度任)	用職員人件費)						
		正職員人件費[按	分](B)	74	76	75	77		
		トータルコスト( <i>A</i>	()+(B)	74	76	75	77		
関	与職員	員数(単位:人)	正職員	0.01	0.01	0.01	0.01		

#### (4)環境変化·住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
志免・宇美浄化センターの契約更新に伴い、 吉原地域農地の改善活性化を目的とした整 備基金を積み立てる事となり、その運用とし て吉原農区活性化事業が開始となった。		農業従事者が耕作し易くなったため、今後の 工事を待ち望む意見がある。

2	分	析•	検証(Ch	<b>HEC</b>	()						
			平価の視点	点				項	目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
	上位	立族	策への貢	献度		7	貢献度	高い		農業支援、活性化の観点から、確実に耕作に効率化が図られ、結果、産	
			業の成果が」 その実現に直				貢献度	ふつう		業を支援し、住み続けたいと思える施策の目的に結び付く。	
	ロ か)	93	分の夫現に但	結してい	10		貢献度	低い		]	
妥	意	¥σ.	)適切性			7	妥当で	ある		吉原農区活性化整備基金条例の設置目的に合致しており、吉原農区活	
当	(総合	信	画、町民の二	一ズ、法	令		検討の	余地が	ある	性化に基金が活用されることは農業支援につながる。	3
性	寺に か)	対し	って、意図が通	15円でめ	6		検討の	余地が	多い	]	
	自治	台体	関与の必	要性		>	妥当で	ある		吉原農区活性化基金条例に基づき、積立てられた基金を活用するため。	
	(自治	台体	が主体で取組	且むべき	事		検討の	余地が	ある	]	
	業か	、住	民参画の余り	也はない	か)		検討の	余地が	多い	]	
	成界	₹σ.	)向上余地			>	期待す	る成果	が得られている	町内農用地域では、唯一集積した地域であり、農業支援として有効な事	
			る成果を得ら				成果の	向上余	地がややある	業であり、引き続き当該事業を推進することで、効率的な営農を支援で   き、吉原農区の活性化を目的とした事業に繰り入れできている。	
	俊期ある		する成果をあ	ける赤り	四小		成果の	向上余	地が多い	▼さ、古原辰区の沿性16を日的とした事業に繰り入れでさくいる。 ┃	
有	対象	<b>₽</b> 0.	)適切性			7	適切で	ある		吉原農区活性化のために積立られた基金であるため、対象は適切であ	1
効	(意図	図を	達成するうえ	で、現場	犬の		改善の	余地が	ややある	ేవ <u>.</u>	3
性	対象効な	設力 対象	Eが最も有効 を設定はない	か、他に か)	.有		改善の	余地が	多い	]	
	手	<b>设</b> σ.	)適切性			7	適切で	ある		吉原農区活性化に活用するための事業のために、一般会計に繰り入れ	
			達成するうえ				改善の	余地が	ややある	ることは最も有効な手段である。	
			景も有効か、ℓ ないか)	凹に有効	J/J		改善の	余地が	多い	]	
	業務	务σ.	)効率化			>	効率的	である		最低限の人員であり、これ以上の削減の余地はない。	
	(業剤	务手	順、関与職員	人数に	つい		改善の	余地が	ややある	]	
	て見	直し	の余地はなり	いか)			改善の	余地が	多い	]	
効	投力	ζΞ	ストの適ち	<b>辺性</b>		>	適切で	ある		すでに基金の積み立ては終了しており、削減できるコストはない。	
率性	(投)		るコストは適	正か、肖	<b>川減</b>		改善の	余地が	ややある		3
性	の余	地は	はないか)				改善の	余地が	多い		
	財派	京確	保の適切	性		٦	適切で	ある		活動できる国、県等の補助はなく、この事業においては受益者負担の考	
			負担は適正だ	か、国、県	等		改善の	余地が	ややある	え方はそぐわない。	
	の補	助等	手はないか)				改善の	余地が			
		\				妥当	当性			検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)	
				点0	1.	点	2点	3点	平成22年度加速	から令和元年度まで毎年2千万円ずつ積立、合計2億円積立が終了した。な は初ま整備調え東米を行っており、今年度については、地戸物業界が末東	お、
			いずれか0点	d		2	С	С	(根丛 C た <del>屋</del> 玉)	は都市整備課で事業を行っており、今年度については、地元協議及び工事 5情、事故もなく、7期工事を完了。生活安全課では繰入だけの内容となっ	期间 てい
		有							る。		
	ヷ	効	いずれか1点	С		2	С	С			
1	折	性・	合計4点	С			b	b			
木		効	H21 1711				~	~			
1 1	Œ	率性	合計5点	С	k	0	b	а			
并	吉果		合計6点	С	k	<b>o</b>	а	а			
			а	業務ある		内容	引は適	切で			

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

			-	コストの	方向性	ŧ	成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			皆減			拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後	成果の方向性	維持		Е	D		
の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
	[	)	成果	•費用	とも約	辪	

[福岡県志免町]

基本性	青報	□令	和04年度 実施計画事業 □総合戦略該当事業				事務事業コード	1304402
哥	<b>事務事業名</b>		糟屋地域農業振興連絡協議会参画事業	1	担当課	都市整備課	担当係	農業振興係
					会計	01 一般会計		
総体	施策	04	まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興	予			, <del></del>	
合	2011			算	款	06   農林水産第	<b>養</b>	
総合 計画 系	HDL18日フェナータ上	1 1	適切な農業のあり方を確立する	科目	項	01 農業費		
曲 糸	以り組み力可	4-4	週切な辰未のめり月を帷立する 	le	目	03 農業振興費	Ì	
相址	心法令条例等			但	別計画			
11237	ליון אין אין			Щ	الطا ا دار الله			
実施	期間 🔲 04	1年度の	Dみ	台		□期間限定(複数年	F) 年度~	- 年度

# 1 計画・実施(PLAN・DO) (1)事務事業の目的と事業内容

	子が子木の口りて子木!					
		対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
事	①対象	⑦ 糟屋地区農業振興連絡協議会	団体	1	1	1
事務事業	(誰を、何を)	<b>(1)</b>				
業		(b)				
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・糟屋地区内農業の近代的農業経営の振興や経営安定と農業経済の向上る	<u>:</u> などを	を図る取締	組が活発は	こ行われ
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	糟屋地区農業振興連絡協議会やその下部組織粕屋南部地区農業振興連協、普及センター)への参画を行い、各団体と連携した取組を行う・会議への出席・企画事業への参画	絡協議	会(志免、	宇美、須	恵、農

#### (2)指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	会議参加回数	<b>1</b>		目標	5	5	4	80.0%
	/山封/	<b>公</b>	ı		実績	3	4		00.070
1	活動	負担金額	<b>1</b>	千円	目標	435	435	435	74.5%
	/口到		ı	117	実績	164	324		74.570
ウ	成果	企画事業数	<b>1</b>	事業	目標	1	1	1	100.0%
	以木	正四 <del>丁未</del> 奴 	l	尹未	実績	0	1		100.0%
エ	成果	企画事業参加者数	Λ	,	目標	100	60	60	35.0%
	以木	正四 <del>丁未</del> 多加有奴 	ı	人	実績	未開催	21		35.0%
才					目標				
7)					実績				
カ					目標				
//					実績				

#### (3) 総事業費の推移

(3)	心中未	貝の推修					_						
		財源内訳(単位	:千円)	03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)				
		国·県支出金	念、地方債	0	0	0	0						
事	4.77	受益者	負担	0	0	0	0						
業	経	その他特	定財源	0	0	0	0						
*	費	一般則	才源	165	440	324	440						
費		合計(	(A)	165	440	324	440						
		(内 会計年度任)	用職員人件費)										
		正職員人件費[按	E職員人件費[按分](B)		員人件費[按分](B)		員人件費[按分](B)		3,210	3,209	3,254		
		トータルコスト( <i>A</i>		2,798	3,650	3,533	3,694						
関	与職員	員数(単位:人)	正職員	0.35	0.42	0.42	0.42						

#### (4)環境変化·住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
昭和54年7月13日より実施。 糟屋地区の各町と連帯し農業振興を図る。	米の価格下落により非常に厳しい経営環境 にある中で、地域農業振興連絡協議会によ る営農指導や米の需給調整等を行ってい る。	なし

2 分析・検証(CHECK)

2 5		·検証(Cl	_	()						
	_	評価の視点				項	目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定	
╽	_位方	を策への貢	献度		☑ 貢献!	度高い		」農業関係機関や農協等の営農指導により、地域の特性に応じた振興を 		
(事	事務事	業の成果が」 姿の実現に直	と位施策 結してし	の	□ 貢献	度ふつう		図り、農業の振興に貢献している。		
か		女の大坑に巨	MDO C C	ه.	□ 貢献!	度低い				
妥意	図	の適切性			☑妥当	である		事業を通して、農家だけでなく一般町民に対して、地産地消や食育につ		
	総合計	画、町民の二	一ズ、法	令	□検討(	の余地が	ある	】いて考えてもらう機会が提供できており、町としての助成は必要であ 	3	
性か	·)	して、意図が通	⊎切 ぐめ	ව	□検討(	の余地が	多い	- 5.		
自	治位	本関与の必	要性		☑妥当	である		町だけではなく、農協等農業関係機関と協議会を立ち上げて行ってい		
(É	自治体	が主体で取ん	且むべき	事	□検討	の余地が	ある	るため、参画の余地はない。		
業	か、仁	主民参画の余地	也はない	か)	□検討	の余地が	多い	]		
成	、果の	の向上余地			□期待3	する成果	が得られている	地元のものを食べるという地産地消の意識を持ってもらうことで、糟屋		
		る成果を得ら			☑ 成果	の向上弁	(地がややある	地区の農産物の需要確保が図られるため、向上する余地がある。		
	期付るか	する成果をあ )	ける赤垣	弘小	□ 成果(	の向上弁	注地が多い	]		
有対	象(	の適切性			☑適切	である		意図を達成するためには、関係機関との会議を開催し協議する必要が		
効係		達成するうえ			□改善の	の余地が	ややある	あるため適切である。	2	
		定が最も有効 象設定はない		.有	□改善の	の余地が	多い	]		
手	-段(	の適切性			☑適切	である		意図を達成するためには、関係機関との会議を開催し協議する必要が		
		達成するうえ			□改善の	の余地が	ややある	あるため適切である。		
		最も有効か、作 ないか)	凹に有効	J/J.	□改善の	の余地が	多い	]		
業	₩	の効率化			☑効率的	内である		最低限の人員であり、これ以上の削減の余地はない。		
(美	業務手	-順、関与職員	人数に	つい	□改善の	の余地が	ややある	]		
7	見直	しの余地はなり	いか)		改善の	の余地が	多い	1		
効	汉:	コストの適ち	70性		☑適切	である		必要最小限で負担しているため、適切である。		
率(料	ひ入す ひんしゅん かんしゅん かんしゅん かんしゅん かんしゅん かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	るコストは適	正か、肖	減	改善の	の余地が	ややある	]	3	
性の	余地	はないか)			□改善の	の余地が	多い	]		
財	排源	催保の適切	性		☑適切	である		国・県等の補助等はないため、適切である。		
(受	受益者	負担は適正な	か、国、県	等	□改善の	の余地が	ややある	]		
<i>の</i> :	補助	等はないか)			改善(	の余地が	多い	]		
				3	妥当性			検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)		
			0点	1,5	点 2点	3点		コナ感染症に対しての状況が変わり、規模を縮小し、定員一杯の参加者が羽	そられ	
		いずれか0点	d	С	: С	С		ふれあい交流事業を実施することができた。 ついては、他町(宇美町、須恵町)と協議したうえで、参加者人数について埠	<b>≜</b> わり.	
	有		ŭ	H	Ť	H	て行きたい。	フットの、同門(丁大門、沢心門)に励成したりたて、多川日八奴に フいてを	4 '- U	
分	効性	いずれか1点	С	C	: C	С	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			
析	性	合計4点	С	C	: b	b				
検	効			L	. 5	, D				
証	率性	合計5点	С	b	b	a				
結果		b	а	а	a					
木		HIIOW			u	u				
		a	業務ある		内容は通	歯切で				

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

<u> </u>	コストの方向性						成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
				コストの	)方向性	Ē	INVICANDE AND A HEAD WIND CAMPIAN
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後	成果の方向性	維持		Е	D		
の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
	[	)	成果	・費用	とも終	辪	

[福岡県志免町]

基本性	青報	□令	和04年度 実施計画事業 □総合戦略該当事業					事務事業コード	1304403
哥	事務事業名		農区等支援事業	į	担当課	都市整備課担当係			農業振興係
総体	施策	04	まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興	予	会計	01	一般会計		
合	ルビス	0+	ようの)  6万の月日上と歴史大日・産来の別成英	算	款	06	農林水産業	費	
総合 計画系	B71.18日ユロナタル	1 1	適切な農業のあり方を確立する	科目	項	01	農業費		
曲 糸	日文・フルロのアノコル	4-4 L	週別な展来ののグガを確立する	H	Ш	03	農業振興費		
根挑	根拠法令条例等			個	別計画				
実施	期間 🔲 04	1年度0	かみ	台		期間	引限定(複数年	年度~	- 年度

# 1 計画・実施(PLAN・DO) (1)事務事業の目的と事業内容

_		対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)					
事	①対象	② 農区	農区	6	6	6					
当	(誰を、何を)	① 農事組合	組合	22	22	22					
事務事業		農業用施設(井堰、ため池)	箇所	26	26	26					
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・(農区、農事組合)農区、農家間での連携が強化され、地域の農業力が強化される・(農業用施設)適切に管理される									
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	農区、農事組合等への情報提供や連携できる取組を行う ・水利管理の委託契約事務、委託料支払事務 ・農区長会議、農事組合長会議の開催 ・稲作こよみ説明会の開催									

#### (2)指標達成状況

(2/1	出示廷以1	八 <i>川</i> 山							
	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	水利管理委託金額	<b>↑</b>	千円	目標	1,710	1,710	1,710	100.0%
-	7,1,1,2,3	5 15 H = 2375 = 27	•		実績	1,710	1,710		
1	活動	農区長会議開催数	<b>^</b>		目標	12	12	12	75.0%
1	/口到	及区区公园州间数	ı	1 1	実績	7	9		75.076
ゥ	活動	農事組合長会議開催数	<b>→</b>		目標	1	1	1	100.0%
	/白到	辰	ı		実績	0	1		100.076
工	成果	  農区長会議参加者数(平均)	<b>→</b>	,	目標	6	6	6	100.0%
	IX. <del>X</del>	反区区公成多加省数(十岁)		人	実績	6	6		100.076
オ	成果	農事組合長会議参加者数(平均)	<b>→</b>	,	目標	22	22	22	100.0%
\nu_1	以木	灰字旭口及云哦多加召奴(十岁)	I	人	実績	0	22		100.076
カ					目標				
73					実績				

#### (3)総事業費の推移

		財源内訳(単位	:千円)	03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
		国·県支出金	<b>会、地方債</b>	223	223	223	223		
事	40	受益者	負担	0	0	0	0		
業	経	その他特	定財源	0	0	0	0		
未	費	一般則	才源	1,934	2,128	2,044	2,128		
費		合計(	(A)	2,157	2,351	2,267	2,351		
		(内 会計年度任)	用職員人件費)						
		正職員人件費[按	分](B)	3,623	3,526	3,209	3,333		
		トータルコスト(A	()+(B)	5,780	5,877	5,476	5,684		
関	与職員	員数(単位:人)	正職員	0.48	0.46	0.42	0.43		

#### (4)環境変化·住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
農作業の円滑化を図るため、農区・農事組合内での連携や作業協力を進めることを目的に開始した。	各農区とも高齢化が進む中、担い手不足が 深刻化してきている。そのような状況下で、 農区内各農家間での連携が重要になってき ている。	なし

2	分	析•	検証(Ch	<b>HECH</b>	()						
			平価の視点	点				項	目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
	上位	立族	策への貢	献度			貢献度	高い		農区・農事組合内の連携を強め、スムーズな農業経営、良好な農業環境	
			業の成果が」			<b>\</b>	貢献度	ふつう		の形成を行うことで、農業の振興に貢献している。	
	かり	93	その実現に直	結して	,1 <sub>の</sub>		貢献度	低い			
妥	意图	¥σ.	)適切性			<b>\</b>	妥当で	ある		良好な農業環境の形成は公共性が高いため、行政が行うことは妥当と	1
当	(総合	信	画、町民の二	ーズ、法	令		検討の	余地が	ある	いえる。	2
性	か)	対し	って、意図が通	15円であ	ර		検討の	余地が	多い		
	自治	台体	関与の必	要性		<b>~</b>	妥当で	ある		国・県及び町の施策等について、農区・農事組合を通して農家に対して	
	(自治	台体	が主体で取組	且むべき	事		検討の	余地が	ある	情報提供をすることがあるので、妥当である。	
	業か	、住	民参画の余り	也はない	か)		検討の	余地が	多い		
	成男	₹σ.	)向上余地			<b>\</b>	期待す	る成果	が得られている	農家への連絡調整、水利管理については、農区・農事組合で必要なシス	
			る成果を得ら				成果の	向上余	地がややある	テムを構築しており、これ以上の成果の向上余地はない。	
	俊期ある		する成果をあ	ける赤り	也か		成果の	向上余	地が多い		
有	対象	<b>₽</b> 0.	)適切性			<b>\</b>	適切で	ある		情報提供、情報共有及び連絡調整するためには適切である。	1
効			達成するうえ				改善の	余地が	ややある		3
性	対象効な	設入 対象	Eが最も有効 食設定はない	か、他に か)	- 有		改善の	余地が	多い		
	手段	<b>殳</b> σ.	適切性			<b>~</b>	適切で	ある		情報提供、情報共有及び連絡調整するためには適切である。	
			達成するうえ				改善の	余地が	ややある		
			<sup>支も</sup> 有効か、↑ ないか)	他に有効な  一改善の余地が多い							
	業務	务σ.	)効率化			<b>\</b>	効率的	である		必要最小限の人員で行っており、効率的である。	
	(業務	务手	順、関与職員	人数に	つい		改善の	余地が	ややある		
	て見	直し	の余地はなり	いか)			改善の	余地が	多い		
効	投力	ζΞ	ストの適ち	<b>刃性</b>		<->	適切で	ある		必要最小限のコストで行っており、効率的である。	1
率	(投)		るコストは適	正か、肖	削減		改善の	余地が	ややある		3
性	の余	地は	はないか)				改善の	余地が	多い		
	財源	京確	保の適切	性		<b>✓</b>	適切で	ある		すでに、国、県の補助対象のものについては、交付を受けており、これ以	
			負担は適正な	い、国、県	農等		改善の	余地が	ややある	上の財源確保は難しいため、適切である。	
	の補	助等	手はないか)				改善の	余地が	多い		
		\	/			妥当	当性			検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)	
				0点	1	点	2点	3点		この連携を強めていくことによって、災害時の対応等含めて良好な農業環境	
			いずれか0点	d	١,	С	С	С		る。良好な農地形成は、広範囲に災害を抑止する等の利益へとつながるこ ヹ・公正な施策といえる。	22
		有			+				30) C A	日本	
	יי ק	効	いずれか1点	С	(	С	С	С			
1	<b>斤</b>	性・	合計4点	С	Ι,	С	b	b			
<b>∤</b>		効	ды тик			_	2	2			
	Œ	率性	合計5点	С		b	b	а			
j j	吉果		合計6点	С		b	а	а			
			а	業務ある		内容は適切で					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

<u> </u>	コストの方向性						成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
				コストの	)方向性	Ē	INVICANDE AND A HEAD WIND CAMPIAN
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後	成果の方向性	維持		Е	D		
の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
	[	)	成果	・費用	とも終	辪	

[福岡県志免町]

基本性	青報	□令	和04年度 実施計画事業 □総合戦略該当事業					事務事業コード	1304404
I	事務事業名		早期水稲苗育成助成事業	1	担当課	都市塾	<b>Ě備課</b>	担当係	農業振興係
総体	施策	04	まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興	予算	会計款		般会計 林水産業	書	
総合計画系	取り組み方針	4-4	適切な農業のあり方を確立する	科目	項	01 農	業費	<del></del>	
	心法令条例等				目 別計画	03 農	業振興費		
実施	期間 □04	1 年度(	つみ	台		期間限	定(複数年	) 年度~	· 年度

# 1 計画・実施(PLAN・DO) (1)事務事業の目的と事業内容

		対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)				
事效	①対象	② 農家	軒	82	82	82				
事務事業	(誰を、何を)	<b>②</b>								
		(b)								
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・水稲作付け時期の調整を行うことにより、農業用水資源の確保及び円滑な活用と安定化を図る。								
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	安定的な農業用水の確保のため、極早生水稲作付に助成金を交付する ・極早生水稲作付農家数、購入苗数の把握 ・補助金交付事務								

#### (2)指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	助成金交付件数	<b>1</b>	件	目標	29	30	29	96.7%
	/山封/		ı		実績	30	29		JO. 1 70
1	活動	助成金額	<b>↑</b>	千円	目標	790	790	790	93.3%
-1	/白到	以以並供	I	IIJ	実績	751	737		93.370
ゥ	成果	極早生水稲作付農家数	<b>^</b>	軒	目標	29	30	29	96.7%
.,	以木	極千土小怕1F11辰豕奴 	I	#T	実績	30	29		90.170
エ	成果	極早生水稲作付農家確保率(極早生水稲作	<b>1</b>	%	目標	100.0	100.0	100.0	100.0%
	以木	付農家数/必要な農家数)	I	70	実績	100.0	100.0		100.0%
オ					目標				
7]					実績				
カ					目標				
/]					実績				

#### (3) 総事業費の推移

		財源内訳(単位	:千円)	03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
		国·県支出金	s、地方債	0	0	0	0		
事	4-	受益者	負担	0	0	0	0		
業	経	その他特	定財源	0	0	0	0		
未	費	一般則	才源	752	790	736	790		
費		合計(	A)	752	790	736	790		
		(内 会計年度任)	用職員人件費)						
		正職員人件費[按	分](B)	1,737	1,763	1,763	1,779		
		トータルコスト(A	v) + (B)	2,489	2,553	2,499	2,569		
関	与職員	員数(単位:人)	正職員	0.23	0.23	0.23	0.23		

#### (4)環境変化·住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
水田への引水を全水田農家が一斉に行うと、渇水時には全農地へ必要な水が届かなくなる可能性があるため、引水の時期をずらす必要があることから開始された。	なし	なし

2	分	折·	検証(Ch	<b>HEC</b>	()						
		i	平価の視点	点				項		評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
	上位	立族	策への貢	献度		<b>✓</b>	貢献度	高い		農業用水の確保及び円滑な活用をすることで、適切に水稲作付ができ、	
			業の成果が」				貢献度	ふつう		農業の振興に貢献している。	
	かり	93	その実現に直	結してい	10		貢献度	低い			
妥	意图	¥] <i>0</i> .	)適切性			<b>\</b>	妥当で	ある		農業用水の確保は、農地の健全な運営につながり、健全な農地運営が	
妥当	(総合	信	画、町民の二	一ズ、法	令		検討の	余地が	ある	されることは、景観要素、地球温暖化防止、災害緩衝の機能も期待され	3
性	か)	ХŢС	って、意図が通	15円でめ	ර		検討の	余地が	多い	<del>-</del> ්ි	
	自治	台体	関与の必	要性		<b>~</b>	妥当で	ある		町が早期水稲苗育成助成をすることで、農業用水を安定確保すること	
	(自治	台体	が主体で取組	且むべき	事		検討の	余地が	ある	」ができるため、住民参画の余地はない。	
	業か	、住	民参画の余地	也はない	いか)		検討の	余地が	多い		
	成界	₽Ø.	)向上余地			<	期待す	る成果	が得られている	早期作付けをすることで、渇水時でも農業用水の融通が出来、被害を最	
			る成果を得ら				成果の	向上余	地がややある	一小限にできるため向上の余地はない。	
	後期ある		の以来での	いる赤い	呼い		成果の	向上余	地が多い		
有	対象	<b>₹</b> 0.	)適切性			<	適切で	ある		対象地区を指定しているため適切である。	
効	(意図	図を =n.c	達成するうえ	で、現れ	犬の		改善の	余地が	ややある		3
性	対象	対象	Eが最も有効 を設定はない	か、他に か)	-19		改善の	余地が	多い		
	手段	<b>设</b> σ.	適切性			<b>✓</b>	適切で	ある		多くの農家で水稲の作付け時が重なると、渇水時等は生活用水・農業用	
	(意図	図を	達成するうえ 最も有効か、個	で、現れ	犬の		改善の	余地が	ややある	水の確保ができなくなる為、他に手段はない。	
			ないか)	RIC.HX	ባ' <b>ራ</b>		改善の	余地が	多い		
	業務	务σ.	)効率化			~	効率的	]である		最低限の人員であり、これ以上の削減の余地はない。	
	(業務	务手	順、関与職員	人数に	つい		改善の	余地が	ややある		
		直しの余地はないか)			余地が	多い					
効	投力	ζ=	ストの適ち	<b>刃性</b>			適切で	ある		」必要最小限で負担しているため、適切である。	
率	(投)		るコストは適	正か、肖	刂減		改善の	余地が	ややある		3
性			はないか)				改善の	余地が	多い		
	財源	京研	保の適切	性			適切で	ある		国・県等の補助等はないため、適切である。	
			負担は適正な	小、国、県	幕等	=			ややある		
	の無	IJ₹	手はないか)			_	改善の	余地が			
					_		当性			・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)	V .
	L			0点	1	点	2点	3点	極早生水稲苗   活田をする =	fの助成をすることで、水稲作付け時期の調整をし、農業用水の確保及び円 とができた。しかしながら、近年の異常気象の影響で、極早生水稲苗の品種	滑な
			いずれか0点	d	(	С	С	С		ため、農家からは、品種改良等の要望が出ている。	
,		有							200		
	介 斤	効性	いずれか1点	С	(	С	С	С			
1	.	·	合計4点	С	(	С	b	b			
柞		効率	A = 1 = -		+						
冒幺	正吉	率性	合計5点	С		b	b	а			
5	早		合計6点	С		b	а	а			
			a	業務ある		为容	学は適	切で			

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

		0110			り方向性		成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			皆減		維持拡大		
		拡充		С	В	Α	
今後	成果の	維持		Е	D		
今後の方向性	の方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
		0	成果	・費用	とも糸	維持	

[福岡県志免町]

基本情	青報	□令	和04年度 実施計画事業 □総合戦略該当事業				事務事業コード	1304406
폐	事務事業名		農業用施設維持管理事業	1	担当課	都市整備課	担当係	農業振興係
総体	施策	04	まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興	予算	会計款	01   一般会計		
総合計画系	取り組み方針	4-4	適切な農業のあり方を確立する	科目	項	01 農業費		
					目	04 農地費		
根护	処法令条例等			個	別計画			
実施	期間 🔲 04	1年度の	ひみ	台		□期間限定(複数年	₹) 年度~	4 年度

# 1 計画・実施(PLAN・DO) (1)事務事業の目的と事業内容

,	予切予未V1口りC予未1:	, ,				
		対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
事	①対象	⑦ 農業用施設(ため池)	面	11	11	11
1995	(誰を、何を)	② 農業用施設(小型水門)	基	83	83	83
事務事業		(b)				
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・機能が良好に保たれる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	施設の維持補修、新設工事、改良工事、ため池の浚渫等を行う ・各種契約事務、支払事務				

#### (2)指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	修繕箇所数	<b>1</b>	箇所	目標	5	5	5	120.0%
	/口到	1916日171女	ļ	19171	実績	7	6		120.070
1	活動	工事箇所数	<b>↑</b>	箇所	目標	1	1	1	100.0%
1	/口到		I	凹川	実績	4	1		100.076
ゥ	成果	農業用施設修繕率(修繕等対応箇所数/修繕	<b>↑</b>	%	目標	100.0	100.0	90.0	63.6%
	八木	等必要な箇所数)	ļ	/0	実績	84.6	63.6		03.070
エ	成果	農業用施設不具合件数	i	件	目標	5	5	3	160.0%
	八木		•	П	実績	4	2		100.076
才					目標				
~1					実績				
カ					目標				
71					実績				

#### (3) 総事業費の推移

		財源内訳(単位		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
		国·県支出金	<b>会、地方債</b>	0	1,850	1,760	1,900		
事	4.00	受益者	負担	0	0	0	0		
業	経	その他特	定財源	0	0	0	0		
未	費	一般則	才源	5,246	4,188	4,669	4,859		
費		合計(	(A)	5,246	6,038	6,429	6,759		
		(内 会計年度任)	用職員人件費)						
		正職員人件費[按	分](B)	2,185	2,604	2,300	3,096		
		トータルコスト(A	()+(B)	7,431	8,642	8,729	9,855		
関	与職員	員数(単位:人)	正職員	0.29	0.34	0.30	0.40		

#### (4)環境変化·住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
農業用施設の破損・老朽化により農業経営に支障が生じたことから。	農業者の高齢化等により、農家戸数は年々 減少してきている。	農業団体から「農業用施設の改修」等の要望がある。

2 分析・検証(CHECK)

2		·検証(Cl	_	()					l star :
		評価の視点				項		評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
		施策への貢			✓ 貢献度			農業用施設の維持管理を行うことで、農地の保全を図ることができ、農	
(	事務事 日指す	事業の成果が」 一姿の実現に直	上位施策 結してい	の	貢献度	きふつう		業の振興に貢献している。	
	か)	女の大利に巨	MIO CV	٠.		ぼ低い しょうしん			
妥 当	意図(	の適切性			☑妥当で	ある		」農区からの要望や日常点検の結果に基づいた内容であるため、妥当で	
		計画、町民の二 して、意図が通			■検討の	余地が	ある	ある。	3
	か)	うので、原因ので	39) C 0)	۵	■検討の	余地が	多い		
	自治	体関与の必	要性		☑妥当で	ある		農業用施設の維持管理を行っていくことは農業の振興及び災害の抑制	
(	自治体	本が主体で取組	きべる目	事	■検討の	余地が	ある	のため行政関与は妥当である。	
j	業か、信	住民参画の余り	也はない	か)	■検討の	余地が	多い		
J	成果(	の向上余地			■期待す	る成果	が得られている	修繕要望箇所で実施できていない箇所があるため、修繕計画を立てて	
		する成果を得ら			☑成果の	向上余	地がややある	補修・管理を行うことで成果を向上させることができる。	
	あるか		1) 2) 377.11	3/1/	□ 成果の	向上余	地が多い		
有	対象(	の適切性			✓適切で	ある		農業用施設維持管理に必要な対象に絞っているため適切である。	
	意図を	を達成するうえ 定が最も有効	で、現状	<b>☆</b>	改善の	余地が	ややある		2
性	対象政	促が最も有効 像設定はない	か、他に か)	Ħ	改善の	余地が	多い		
	手段(	の適切性			☑適切で	ある		農業用施設の機能維持のため、現時点で最適と思われる方法にて補修・	
		を達成するう <i>え</i> 、最も有効か、他			□改善の	余地が	ややある	管理を行っている。	
		ないか)	BIC.H.XI	'd	□改善の	余地が	多い		
T I	業務(	の効率化				]である		必要最低限の職員にて事業実施している。	
(	(業務:	手順、関与職員	人数につ	) (I	□改善の	余地が	ややある		
	て見直	しの余地はなり	いか)		□改善の	余地が	多い		
効 <sup>∃</sup>	投入	コストの適り	刀性		☑適切で	ある		最低限の補修・管理を行うものであり、成果の向上余地はない。	
率(		するコストは適	正か、削	減	□改善の	余地が	ややある		3
1'L		はないか)			□改善の	余地が	多い		
ļ	財源	確保の適切	性		✓適切で	ある		現在行っている維持管理に対する費用については補助等はないため適	
		者負担は適正な	い、国、県	等	□改善の	余地が	ややある	切である。	
C	の補助	)等はないか)			□改善の	余地が	-		
				3	妥当性			検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)	
			0点	1,	2点	3点		農業用水の確保以外にも災害抑制機能の役割がある。全体的に老朽化が	進ん
		いずれか0点	d	С	С	С	でいるため、河	定期的に農業用施設の点検を行い、計画的に事業を進めていく。	
,,	有	-							
分析	. 対	りしいすれかり点	С	С	С	С			
析	性	合計4点	С	С	b	b			
検	效	<u> </u>			~	~			
証	一件	合計5点	С	b	b	а			
結果		合計6点	С	b	а	а			
			業終	თ¢	容は適	· itnで			
		a	ある		ᆲᆸᇝᄱ	:71 \			

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

<u> </u>					方向性		成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			-	7/1-0	77J [PJ ]	L .	
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後	成果の方向性	維持		Е	D		
の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
		)	成果	・費用	とも終	辪	

[福岡県志免町]

基本情	青報	□令	和04年度 実施計画事業 □総合戦略該当事業				事務事業コード	1304407
导	<b>『務事業名</b>		農業用水門整備事業	1	担当課	都市整備課	担当係	農業振興係
级体	±	0.4		로	会計	01 一般会計		
総合 計画系	施策	04	まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興 	予算	款	06 農林水産業	費	
計画系	野い組み士針	1_1	適切な農業のあり方を確立する	科目	項	01 農業費		
曲 糸	4人の小田の人の一下	4-4	週初な辰条ののグルを確立する	Ħ	Ш	04 農地費		
根拠	见法令条例等			個	別計画			
実施	期間 🔲 04	年度の	ひみ	台		□期間限定(複数年	=) 年度~	4年度

# 1 計画・実施(PLAN・DO) (1)事務事業の目的と事業内容

		対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
事	①対象	⑦水門整備が必要な箇所	箇所	0	1	0
事務事業	(誰を、何を)	0				
業		<b>(b)</b>				
の目的	②意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	・整備が完了する				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	地元農区の要望による、工事を行う ・地元農区との協議 ・契約事務 ・工事等の管理				

#### (2)指標達成状況

(4/)		7776							
	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	整備件数(工事、委託)	1	件	目標 実績	0	1	0	100.0%
1	 成果	整備進捗率	<b>1</b>	%	目標	整備未実施	1	整備未実施	100.0%
1	以木	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1	70	実績	整備未実施	1		100.0%
ウ					目標実績				
I					目標				
					実績				
オ					目標 実績				
					<del>                                    </del>				
カ					実績				

#### (3)総事業費の推移

		財源内訳(単位	:千円)	03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
		国·県支出金	<b>主、地方債</b>	0	0	0	0		
事	4-	受益者	負担	0	0	0	0		
業	経	その他特	定財源	0	0	0	0		
未	費	一般則	才源	0	8,000	7,700	0		
費		合計(	A)	0	8,000	7,700	0		
		(内 会計年度任)	用職員人件費)						
		正職員人件費[按	分](B)	1,737	923	923	158		
		トータルコスト( <i>A</i>	v)+(B)	1,737	8,923	8,623	158		
関	与職員	員数(単位:人)	正職員	0.23	0.12	0.12	0.02		

#### (4)環境変化·住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
農業用施設の破損・老朽化により農業経営	農業者の高齢化等により、農家戸数は年々 減少してきている。	農業団体から「農業用施設の改修」等の要望がある。

2 分析・検証(CHECK)

2	分析	_	検証(Ch	_	K)	)					
			一個の視点					項	<b>目</b>	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
	上位	Z施	策への貢	献度			貢献度	高い		」農区との連携を強め、スムーズな農業経営、良好な農業環境の形成を行	
	事務	事	業の成果が」 その実現に直	上位施設	策の		貢献度	ふつう		うことで、農業の振興に貢献している。	
	か) か)	9 🕏	の大坑に巨	NO C	V 16		貢献度	低い			
妥	意図	(D)	適切性			<b>✓</b>	妥当で	ある		良好な農業環境の形成は公共性が高いため、行政が行うことは妥当と	
			画、町民の二				検討の	余地が	ある	いえる。	2
	守にX か)	K) U	,て、意図が通	到りJ (* a	のつ		検討の	余地が	多い		
	自治	体	関与の必	要性		<b>✓</b>	妥当で	ある		施設について設置することは、妥当である。	
	(自治	体	が主体で取組	且むべき	き事		検討の	余地が	ある		
	業か、	住	民参画の余地	也はな	いか	۱)	検討の	余地が	多い		
	成果	₹ <i>0</i> ,	)向上余地			<b>✓</b>	期待す	る成果	が得られている	施設設置については、農区の要望・協議をしており、これ以上の成果の	
			る成果を得ら				成果の	向上余	地がややある	向上余地はない。	
	使期( ある)		る成果をあ	ける赤	地人	,	成果の	向上余	地が多い		
有	対象	₹Ø,	適切性			<b>✓</b>	適切で	ある		必要ヵ所に設置するため適切である。	
効		類図を達成するうえで、現状の 象設定が最も有効か、他に有				改善の	余地が	ややある		3	
			Eか最も有効 対設定はない		(二月		改善の	余地が	多い		
	手段	ŧσ,	適切性			<b>✓</b>	適切で	ある		必要ヵ所に設置するため適切である。	
	(意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な			改善の	余地が	ややある					
	手段が最も有効か、他に有効な 手段はないか)						改善の	余地が	多い		
	業務の効率化						効率的	である		必要最小限の人員で行っており、効率的である。	
	(業務	纤	順、関与職員	人数に	つ(	ıı 🗌	改善の	余地が	ややある		
	て見	直し	の余地はな	いか)			改善の	余地が	多い		
効	投入	Ĺ	ストの適ち	70性		<b>✓</b>	適切で	ある		必要最小限のコストで行っており、効率的である。	
率	(投入	ु व	るコストは適	正か、	削減	į 🗆	改善の	余地が	ややある		3
性	の余り	地に	はないか)				改善の	余地が	多い		
	財源	確	保の適切	性		<b>✓</b>	適切で	ある		国、県の補助対象のものについては確認を行い、補助交付対象ではな	
	(受益	者:	負担は適正な	小、国、	県等	ş 🗌	改善の	余地が	ややある	い為これ以上の財源確保は難しいため、適切である。	
	の補助	功等	学はないか)				改善の	余地が	多い		
		\				妥当	当性			検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)	
				O 点	į	1点	2点	3点		こ水門を設置することにより、大雨時の対応等含めて良好な農業環境を形	
			いずれか0点	d		C	С	С		Fな農地形成は、広範囲に災害を抑止する等の利益へとつながることとな な施策といえる。	<b>る</b> の
	7	有			+					る。	
分	3	n 効性	いずれか1点	С		С	С	С			
析	ΓΙΊ	生	合計4点	С	T	С	b	b			
検	3	効	ППТМ	٥	4	C	D	D			
訂	E 🧍	率 生	合計5点	С		b	b	a			
紀	5 I '	_	스카스노	_		h	2	2			
<b>未</b>	•		口目の出	С		b	a	a			
					多 <i>の</i> る	の内容	学は適	切で			

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

	1						成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			-	コストの	力方向性	ŧ	ステンプニュース ショウス 変し (地域の ) (地域の
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後の	成果の方向性	維持		Е	D		
の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
	_	_	廃止	済			

[福岡県志免町]

基本性	青報	□令	和04年度 実施計画事業 □総合戦略該当事業					事務事業コード	1304408
哥	<b>事務事業名</b>		農業用井堰管理事業	1	担当課	都	市整備課	担当係	農業振興係
総合計画系	施策	04	まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興	予	会計	01	一般会計	<b>#</b>	
合				算	款		農林水産業	費	
計画を	町に組み七針	1_1	  適切な農業のあり方を確立する	科目	項	01	農業費		
凹 术	「おなっつ小丘のグラ」型「	+ +		Ħ	目	05	井堰管理費		
根挑	见法令条例等			個	別計画				
実施	期間 □04	年度の	Dみ	台		□期間	間限定(複数年	( 年度~	4 年度

# 1 計画・実施(PLAN・DO) (1)事務事業の目的と事業内容

		対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)			
事務事業	①対象  (誰を、何を)	⑦ 農業用施設(井堰)	箇所	11	11	11			
事	(誰を、何を)	<b>0</b>							
業		(b)							
の目的	・安全かつ機能が良好に保たれる ②意図 (対象をどのような状態にしたいか)								
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	宇美川水系の瀬戸井堰、南里本井堰、別府上井堰の大型井堰は毎年点検ローテーションで点検等を行う ・点検業務委託契約事務 ・修繕の実施	、その	他の井堰	は、年1箇	i所程度 			

#### (2)指標達成状況

(4/1		7770							
	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	井堰点検数	1	箇所	目標 実績	1	3	4	75.0%
1	活動	   井堰修繕件数	<b>1</b>	 件	目標	1	0	1	#DIV/0!
	/口到		1	П	実績	100.0	100.0	100.0	# D1 V / U:
ウ	成果	適正に動作する井堰の割合	1	%	目標 実績	100.0 100.0	100.0 100.0	100.0	100.0%
I					目標				
					実績				
才					目標 実績				
					目標				
カ					実績				

#### (3)総事業費の推移

		財源内訳(単位		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
		国·県支出金	念、地方債	0	0	0	0		
事		受益者	負担	0	0	0	0		
業	経	その他特	定財源	328	400	327	400		
未	費	一般則	才源	1,130	1,200	1,499	4,228		
費		合計(	(A)	1,458	1,600	1,826	4,628		
		(内 会計年度任)	用職員人件費)						
		正職員人件費[按	分](B)	2,334	2,604	2,603	2,635		
		トータルコスト(A	()+(B)	3,792	4,204	4,429	7,263		
関	与職員	員数(単位:人)	正職員	0.31	0.34	0.34	0.34		

#### (4)環境変化·住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
老朽化した井堰の機能維持を図るため、また、豪雨時の災害防止対策として井堰の整備点検を行う。	農業者の高齢化・都市化により農家戸数は 年々減少してきている。	農業団体から整備の要望がある。

2	分	析·	·検証(Cl	HEC	K)											
		i	平価の視点	듰				項	目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定					
	上位	立族	競のの貢	献度		<b>\</b>	貢献度	高い		農業用井堰を点検し安全かつ機能を良好に保つことは、農地の保全を						
			業の成果が」 後の実現に直				貢献度	ふつう		図ることができ、農業の振興に貢献している。						
	ロ か)	193	分の夫兄に但	結して	√10		貢献度	低い								
妥	意	<b>刘</b> 0.	D適切性			<b>\</b>	妥当で	ある		適切な農業のあり方を確立するためには井堰が適正に作動し農業を支						
当	(総合	計	画、町民の二	ーズ、注	去令		検討の	余地が	ある	えることが必要であるため。	3					
性	寺に	J [K	ノて、意図が <u>通</u>	直切 ぐめ	<b>්</b>		検討の	余地が	多い							
	自治	台体	関与の必	要性		<b>V</b>	妥当で	ある		農業を振興及び洪水時の災害抑制するため行政関与は妥当である。						
	(自治	台体	が主体で取締	且むべき	事		検討の	余地が	ある							
	業か	、住	民参画の余り	也はない	いか)		検討の	余地が	多い	7						
	成男	₹σ.	)向上余地	ļ		<b>✓</b>	期待す	る成果	が得られている	農業用井堰の機能維持のための整備点検を行っており、機能が健全に						
			る成果を得ら						地がややある	保たれている。						
	をある			1) නැත	成果の向上余				地が多い							
有	対象	<b>₹</b> 0.	)適切性			_	適切で	ある		農業用井堰のみを対象としており、変更の余地はない。						
効	(意図	意図を達成するうえで、現状の 「象設定が最も有効か、他に有 かな対象設定はないか) 手段の適切性			状の		改善の	余地が	ややある		3					
性	効な				-`F3		改善の	余地が	多い							
	手	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の		~	適切で	ある		農業用井堰の安全かつ機能を良好に保つためには、井堰の機能維持の								
	(意図手段)		達成するうえ 最も有効か、	状の		改善の	余地が	ややある	ために定期的な点検を行うことが適切である。							
			ないか)	BICHX	n'a		改善の	余地が	多い							
	業系	务σ.	D効率化				効率的	]である		必要最低限の職員にて事業実施している。						
	(業)	务手	順、関与職員	人数に	つい	<b>√</b>	改善の	余地が	ややある							
			Jの余地はな	-			改善の	余地が	多い							
効	投力	Λ=	コストの適 <sup>t</sup>	<b>刃性</b>			適切で	ある		農業用井堰の機能維持のため、最低限の整備点検を行うものであり、コ  スト削減の余地はない。						
率性	(投)		するコストは適正か、削減  ② 改善の余地がややある			余地が	ややある	人下削減の赤地はない。	2							
生			はないか)				改善の	余地が	多い							
	財ル	泉储	望保の適切 かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	性			適切で			国・県等の補助等はないため、適切である。						
			負担は適正が 等はないか)	か、国、県	県等				ややある							
	の補	助	手はないか)					余地が								
		`			1 -		当性			検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)	<del>11.12</del>					
	L			0点	_ 1	1点	2点	3点		が年々進み、突発的な不具合等が発生している。限られた予算では全ての い為、優先順位をつけて点検を行っていく必要がある。	<b>升</b> 堰					
			いずれか0点	d		С	С	С	EWIX CC 8	V・My 限プロスはとうけて MM人と13 フ C V・ (20 女が)の 0。						
		有	いずれか1点		1	_	_	_								
	分   折	効性	いりれが「点	С		С	С	С								
	:	·	合計4点	С		С	b	b								
<u>†</u>		効率			+											
	正洁	率性	合計5点	С		b	b	а								
5	¥		合計6点	С		b	a	a								
			合計6点     c     b       a     業務の内 ある			内容	字は適	切で								

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

					方向性		成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			-	J / I / V	//J [P] [_	_	
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後	成果の方向性	維持		Е	D		
方向	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
			成果	・費用	とも終	推持	

[福岡県志免町]

基本性	青報	□令	和04年度 実施計画事業 □総合戦略該当事業				事務事業コード	1304409
哥	<b>『務事業名</b>		ファミリー農園管理事業	担当課都市整備認			担当係	農業振興係
総体	+/ ^/-	0.4		孓	会計	01 一般会計		
総合 計画 系	施策	04	まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興 	予算	款	06 農林水産業	費	
計画系	取り組み古針	1-1	適切な農業のあり方を確立する	科目	項	01 農業費		
画 术	4人・シットログンフェー	4 4	一週初な展来ののグルを確立する	п	目	02 農業総務費	<u> </u>	
根挑	见法令条例等			個	別計画			
実施	期間 🔲 04	年度(	Dみ	台		□期間限定(複数年	=) 年度~	- 年度

# 1 計画・実施(PLAN・DO) (1)事務事業の目的と事業内容

		対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
事務事業	①対象 (誰を、何を)	⑦ファミリー農園	m2	14,479	13,797	13,797
事	(522(132)	<u>⊘</u>				
兼の		♥   ・農地として保全される				
自的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)					
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	地域住民が利用できるファミリー農園としての管理を行う ・土地賃貸借契約事務、土地借り上げ料支払事務				

#### (2)指標達成状況

(2/)	出示廷以1	Λ <i>η</i> ι							
	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	契約、支払事務件数	1	件	目標 実績	11	10 10	10	100.0%
1	成果	農地として保全された面積(ファミリー農園	<b>1</b>	m2	目標	14,479	13,797	13,797	100.0%
	19071	借り上げ面積)	'		実績 目標	14,479	13,797		100.070
ウ					実績				
エ					目標 実績				
オ					目標				
					実績 目標				
カ					実績				i

#### (3)総事業費の推移

		財源内訳(単位		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
		国·県支出金	<b>会、地方債</b>	0	0	0	0		
事	4.77	受益者	負担	0	0	0	0		
業	経	その他特	定財源	0	0	0	0		
未	費	一般則	才源	5,064	4,363	4,340	4,363		
費		合計(	(A)	5,064	4,363	4,340	4,363		
		(内 会計年度任)	用職員人件費)						
		正職員人件費[按	分](B)	2,633	2,755	2,755	3,175		
		トータルコスト( <i>A</i>	()+(B)	7,697	7,118	7,095	7,538		
関	与職員	員数(単位:人)	正職員	0.35	0.36	0.36	0.41		

### (4)環境変化·住民意見等

2	分析	斤·検	証(Ch	<b>HECK</b>	()											
		評価	の視点				項	目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定						
	上位	施策	への貢	献度	[	貢献!	度高い		農地・緑地の保全を行うため、農業の振興に貢献している。。							
			成果が」			√ 貢献!	度ふつう		1							
	日指: か)	多安の	実現に直	枯してい	, a		度低い		]							
妥	意図	の適	切性			33世	である		農地として保全はされるが、一部の農地に限定されるため、公平性を確	1						
当	(総合	計画、	町民の二	ーズ、法	令 [	√検討(	の余地が	ある	保する観点から考えると妥当性は低い。							
性	寺に <sup>)</sup> か)	<b>可して、</b>	意図が通	見切であ	<u>ء</u> [	検討の	の余地が	多い	1	2						
	自治	体関	与の必	要性	[	妥当7	である		国の減反政策が終了し、町が主体的にする必要性がなくなってきてい							
	(自治	体が主	体で取組	むべき	■ ✓検討の余地が			ある	ため、検討の余地はある。							
	業か、	住民参	画の余り	也はない	か) [	検討の	の余地が	多い	]							
	成果	の向	上余地		[	✓期待?	する成果	が得られている	町内の農地面積は広くなく、使用についても地権者の意向に左右され							
			果を得ら			成果の	D向上弁	(地がややある	ることがあるため向上余地はない。							
	使期( ある)		成果をあ	ける赤地	3/3	成果の	D向上弁	除地が多い	1							
有	対象	の適	切性		[	✓適切で	である		ファミリー農園として利用している間については、耕作放棄地とはなら	1						
効	(意図	を達成	するうえ	で、現状	<del>で</del>	改善の	の余地が	ややある	ないため、適切である。	3						
性	対象は効なが	設定から対象設定	最も有効 定はない	か、他に か)	<sup>1</sup>	改善の	の余地が	多い	1							
	手段	め適	切性		[	✓適切で	である		ファミリー農園として利用している間については、耕作放棄地とはなら	1						
			なするうえ 有効か、船			改善の	の余地が	ややある	ないため、適切である。							
		か取り		別に行業	٦ [	改善の	D余地が	多い								
	業務	の効	率化		[	☑ 効率的	勺である		必要最小限の人員で行っており、効率的である。							
	(業務	手順、	関与職員	人数にこ	วเา [	□改善の余地がややある										
	て見込	直しの名	余地はなり	いか)	[	改善の	の余地が	多い								
効	投入	、コス	トの適ち	刃性	]	✓適切で	である		必要最小限のコストで行っており、効率的である。							
率性			ストは適	正か、削	減 [	」改善の	の余地が	ややある		2						
		也はなり			[	]改善の	D余地が	多い								
	財源	確保	の適切	性	[	適切で	である		受益者負担および借り上げ料の値下げによって、コスト削減を図ること							
			は適正な	い、国、県	等 [	改善の	の余地が	ややある	ができる。							
	の補助	功等は	ないか)			☑改善α	の余地が									
		/				当性			検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)	<b>7</b>						
			_	点0	1点	2点	3点	今年度も同様	、無断駐車や野焼き等の苦情が一部農園で見受けられた。その度に現地に をした。また、利用者間のトラブルも一部農園で見受けられ、職員が対応し	行き   た						
		۱٦	げれか0点	d	С	С	С	有似寺で設置   今後は、農業技	をした。また、利用有間のパラブルし、	どの						
,	. 1	有						整理をしてい	き、ファミリー農園の利用者及び区画の把握をしていき適切に管理している。	<.						
分	Ì	対性	げれか1点	С	С	С	С									
17	1 11		計4点	С	С	b	b									
杉		劝														
訂新	E Î	率 生 合	計5点	С	b	b	a									
月		合	計6点	С	b	а	а									
		II.		課題	が少	しあり	業務									
		ľ	)			直しか										

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

<u> </u>	1						成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
				コストの	)方向性	Ē	INVICANDE AND A HEAD WIND CAMPIAN
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後	成果の方向性	維持		Е	D		
の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
	[	)	成果	・費用	とも終	辪	

[福岡県志免町]

基本性	青報	□令	和04年度 実施計画事業 □総合戦略該当事業				事務事業コード	1304410
Ę	事務事業名		吉原農区活性化事業	担当課都市整備課			担当係	農業振興係
総体合	施策	04	まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興	予算	会計 款	01   一般会計	費	
合計画系	取り組み方針	4-4	適切な農業のあり方を確立する	科目	項目	01 農業費 07 吉原農区活	性化事業費	
根挑	処法令条例等	吉原原	 農区活性化整備基金条例	個	別計画	·		
実施	期間 🔲 04	年度の	Dみ ✓単年度繰返 H 22 年度より開始	台		□期間限定(複数年	三) 年度~	· 年度

#### 1 計画·実施(PLAN·DO)

#### (1) 事務事業の目的と事業内容

		対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
事務事業	①対象	⑦ 吉原農区活性化整備基金を活用した工事	件	1	1	0
事	(誰を、何を)	<b>0</b>				
		<u>(b)</u>				
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・期限内に完了する				
業	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	工事について、吉原農区と地権者との説明や協議を行い、計画設計、施コ・吉原農区、地権者との協議・設計図書の作成・工事契約事務	□及び <sup>•</sup>	管理を行	Ò	

#### (2)指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	吉原農区、地権者等への説明回数	<b>^</b>		目標	2	1	0	100.0%
,	/口到	日水成区、地框目 守、、〇)加引且奴	ı	121	実績	1	1		100.070
1	活動	協議打合せ回数	<b>1</b>		目標	2	1	0	100.0%
'	/口到		ı	<u> </u>	実績	2	1		100.070
ゥ	活動	工事発注数	<b>1</b>	件	目標	1	1	0	200.0%
	/口到	工事元任数 	ı	П	実績	1	2		200.070
I	成果	工事進捗率	<b>^</b>	%	目標	100.0	100.0	0.0	100.0%
	八木	工事に]少平	ı	70	実績	100.0	100.0		100.076
才					目標				
~1					実績				
力					目標				
73					実績				

#### (3)総事業費の推移

(3) 160 7 1619									
		財源内訳(単位	:千円)	03年度	04年度	04年度	05年度	06年度	07年度
			. 113/	(決算値)	(当初予算)	(決算値)	(当初予算)	(計画)	(計画)
		国·県支出金	s、地方債	0	0	0	0		
事	4.77	受益者	負担	0	0	0	0		
業	経	その他特	定財源	5,806	6,500	4,870	0		
未	費	一般則	才源	0	0	0	0		
費		合計(	A)	5,806	6,500	4,870	0		
		(内 会計年度任)	用職員人件費)						
		正職員人件費[按	分](B)	1,507	1,832	1,832	619		
		トータルコスト(A	v)+(B)	7,313	8,332	6,702	619		
関	与職員	員数(単位:人)	正職員	0.20	0.24	0.24	0.08		

# (4)環境変化·住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
宇美・志免浄化センターの契約更新に伴い、 吉原地域農地の改善活性化を目的とした整 備基金を積み立てる事となり、その運用とし て吉原農区活性化事業が開始となった。	宇美・志免浄化センターの契約更新に伴い、 吉原地域農地の改善活性化を目的とした整 備基金を積み立てる事となり、その運用とし て吉原農区活性化事業が開始となった。	農業従事者が耕作し易くなったため、今後の 工事を待ち望む意見がある。

2	分村	<u>沂·</u>	検証(Ch	HECK	()										
		詔	呼価の視 <sub>点</sub>	듰				項	目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定				
	上位	施	策への貢	献度		7	貢献度	高い		農業支援・活性化の視点から、確実に耕作に効率化が図られ、結果、産					
			業の成果が」				貢献度	ふつう		業を支援し、住み続けたいと思える施策の目的に結びつく。					
	かり	9 妥	の実現に直	作してい	10		貢献度	低い		]					
妥	意図	<b>⟨</b>  の	適切性			\	妥当で	ある		工事を期限内に完了させることで、耕作の効率化が出来る。					
当	(総合	計	画、町民の二	一ズ、法	令		検討の	余地が	ある	]	3				
性	寺にかり	ХŢU	て、意図が通	切じめ	6		検討の	余地が	多い	]					
	自治	体	関与の必	要性		<b>\</b>	妥当で	ある		吉原農区活性化基金を活用した事業である。					
	(自治	体	が主体で取組	且むべき	事		検討の	余地が	ある	]					
	業か、	、住	民参画の余地	也はない	か)		検討の	余地が	多い						
	成果	₹の	向上余地			^	期待す	る成果	が得られている	町内農用地域では唯一集積した地域であり、農業支援として有効な事					
			る成果を得らる成果をあ				成果の	向上余	地がややある	業であり、引き続き当該事業を推進することで、効率的な営農を支援て きる。					
	を ある た		る成未をの	1) の氷灯	Б\J,		成果の	向上余	地が多い	<u>්</u> පිතං					
有	対象	えの)	適切性			^	適切で	ある		工事を実施する為適切である。					
効			達成するうえ				改善の	余地が	ややある	]	3				
性	対象が効な	設及 対象	が最も有効 設定はない	か、他に か)	.19		改善の	余地が	多い	]					
	手段	<b>その</b>	適切性			>	適切で	ある		工事をすることで、耕作の効率化が出来るため、他に有効な手段はな					
			達成するうえ も有効か、他				改善の	余地が	ややある	] ( \alpha_0					
			いか)	RIC.HX	J'&		改善の	余地が	多い						
	業務	多の	効率化			>	効率的	である		最低限の人員であり、これ以上の削減の余地はない。					
	(業務	新	順、関与職員	人数に	つい		改善の	余地が	ややある						
			の余地はなり	-			改善の	余地が	多い						
効	投入	(コ	ストの適ち	刃性		<b>\</b>	適切で	ある		吉原農区活性化委員会及び地元地権者との協議の結果、工事の設計を					
率	(投入		るコストは適	正か、削	<b></b>  減		改善の	余地が	ややある	し、入札を行っているため、適切である。	3				
性			ないか)				改善の	余地が	多い						
	財源	?確	保の適切	性		\	適切で	ある		吉原農区活性化基金を活用した事業であるため、適切である。					
			負担は適正な	い、国、県	等		改善の	余地が	ややある						
	の補	明寺	まはないか)			_		余地が							
		`					当性	_		検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)					
			_	0点	1,	点	2点	3点	今年度につい  とができた。	ては、地元協議及び工事期間においても、苦情、事故もなく、工事を完了す	るこ				
			いずれか0点	d		2	С	С		ついても、継続して吉原農区活性化委員会及び地元農区と協議を行ってい	1<.				
١,	, ,	有							7120732112		•				
う		効性	いずれか1点	С		3	С	С							
17	ן ו	·	合計4点	С			b	b							
村	Λ,	効素			١.										
1	L i	率性	合計5点	С	k	)	b	а							
糸	見		合計6点	С	k	)	а	а							
			a	業務ある		为容	学は適	切で							

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

<u> </u>							成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			-	コストの	)方向性	ŧ	成本の万円は(私 万型の万城安に州川にするの別本)
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後の	成果の方向性	維持		Е	D		
の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
	_	_	廃止	済			

[福岡県志免町]

基本性	青報	√令	和04年度 実施計画事業 □総合戦略該当事業				事務事業コード	1504201
哥	事務事業名		伝承文化振興団体支援事業	担当係	社会教育係			
					会計	01 一般会計		
総体	施策	04	まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興	予				
合	2021	• •	いりが起がいい。主に歴文人に定念の意	算	款	10   教育費		
総合 計画 系	#n/ 140 7. <del>1</del> AL	4 2	ふるさと意識を高める	科目	項	05 社会教育費		
曲 糸	以り組の力可	4-2	かること思惑を向める	P	目	05 文化振興費		
根拟	见法令条例等	志免[	町伝統文化保存継承事業費補助金交付要綱	促	別計画			
דיואיו משומוי		الادارات						
実施	期間 🔲 04	4年度の	かみ	4		□期間限定(複数年	( ) 年度~	4 年度

# 1 計画・実施(PLAN・DO) (1)事務事業の目的と事業内容

	がいっていてもんだ。					
		対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
事	①対象	⑦ 伝統文化振興団体	団体	2	2	2
事務事業	(誰を、何を)	① 町民	人	46,518	46,532	46,547
業		(b)				
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・(団体)活動が活発に行われる・(町民)郷土文化に触れることができる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	町の伝統文化の保存、継承を担う団体(志免農区、興風会)への活動支援 ・補助金の交付 ・大会運営に係る一部業務支援	を行う	)		

#### (2)指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	補助金額	<b>1</b>	千円	目標	400	400	400	
,	/口到	THI 47] 並 音名	I	111	実績	0	0		
1	成果	大会開催数	<b>1</b>	回	目標	2	2	2	
1	八木	八公開催奴	I	ы	実績	0	0		
ゥ	成果	   石投げ相撲出場者数	<b>1</b>	,	目標	150	150	150	
	以木	11]又以作]美山物省数	ı	人	実績	未開催	未開催		
エ	成果	剣道大会出場者数	<b>1</b>	Y	目標	380	380	380	
	八木		I	人	実績	未開催	未開催		
才					目標				
					実績				
力					目標				
71					実績				

#### (3) 総事業費の推移

(3) 松中木貝(7)1279											
		財源内訳(単位	· <del>1</del> 田)	03年度	04年度	04年度	05年度	06年度	07年度		
		的你们们干证	. 113/	(決算値)	(当初予算)	(決算値)	(当初予算)	(計画)	(計画)		
		国·県支出金	<b>&amp;、地方債</b>	0	0	0	0				
事	4.77	受益者	負担	0	0	0	0				
業	経	その他特	定財源	0	0	0	0				
未	費	一般則	才源	0	439	0	439				
費		合計(	(A)	0	439	0	439	439			
		(内 会計年度任)	用職員人件費)								
		正職員人件費[按	分](B)	528	611	607	544				
		トータルコスト( <i>A</i>	/)+(B)	528	1,050	607	983				
関	与職員	員数(単位:人)	正職員	0.07	0.08	0.08	0.07				

#### (4)環境変化·住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
地域伝承スポーツを通して青少年の健全育成を図るとともに郷土の歴史文化に親しみ、 志免町の誇りある文化を発信、広め、郷土愛 を深めるために主催者に対して助成を行っ てきた。	人口が増加し、志免町に新しく住まれる方、 もともと住まれている方など、町の伝統行 事に対する認識度に格差が生じてきてい る。	石投げ相撲(志免農区)関係者からの支援要請がある。

2	分	折·	検証(Ch	<b>HECK</b>	()						
		i	平価の視点	点				項	目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
			策への貢				貢献度			伝承文化振興団体の活動が活発に行われ、町民の郷土文化に触れる機   会が増えることは、上位施策の目指す姿「伝統文化に誇りを持ちながら	
			業の成果が」 その実現に直			<u></u>	貢献度	ふつう		全か値なることは、工匠施尿の自宙する「仏が久間にありを持ちなから   住み続けたいと思えるまちづくり」に直結する。	
	か)				Ū	j	貢献度	低い			
妥		•	)適切性			<u> </u>	妥当で	ある		伝承文化振興団体の活動が活発に行われ、町民の郷土文化に触れる機	
当性	総合等に	信介 り校	画、町民の二 ノて、意図が通	ーズ、法 動切であ	令る	<u></u> 7	検討の	余地が	ある	↑会が増えることは、総合計画の取り組み方針である「ふるさと意識を高 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	3
生	か)					=		余地が	多い		
	目清	台亿	関与の必	要性	ļ	=	妥当で			伝統文化を保存・継承していくためには、活動を行う団体に対し、町は   主に活動費への一部補助など経済的な支援を行い、団体と協働するこ	
	(自治学が	台体	が主体で取締 民参画の余り	胆むべき	事かり			余地が		上に石動真べの	
					(JJ·)	$\equiv$		余地が			
			)向上余地						が得られている	今年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、大会を開催することがで   きなかったため、期待する効果を得ることができなかったが、今後は感染防止	
	後期	待す	る成果を得ら する成果をあ			=			地がややある	対策を徹底した大会運営を行うことで参加者数を維持することができる。	
	ある		/、安和州			$\equiv$			地が多い		
有			適切性	~ IB/-		=	適切で			志免町伝統文化保存継承事業費補助金交付要綱で定められた対象団体   のため適切である。	
効性	対象	設定	達成するうえ とが最も有効	か、他に	有	=			ややある	<b>いたの</b> 過初である。	2
_			食設定はない )適切性	か)		$\equiv$		余地が	多い	  伝承文化振興団体へ補助金交付などの支援を行うことにより、その活	
			達成するうえ	で租力	<del>k</del> ω	=	適切で		₩₩± Z	動が活発になり、町民の郷土文化に触れあう機会を創出できるため適	
	手段	が旨	<b>景も有効か、</b> 俑	也に有効	な	=		赤地が余地が	ややある タム	切である。	
$\vdash$			ぶいか) )効率化		-	=	改善の効率的		多い	  補助金交付事務等は必要最小減の職員で行っており、見直しの余地は	$\vdash$
				1 141 1-		$\equiv$			 ややある	一ない。	
	(業績	新 直し	順、関与職員 ノの余地はなり	人数に1 いか)	つい	=		赤地が			
効	投力	ζ=	ストの適ち	71性		=	適切で		301	  費用の削減を行うと維持継続が難しくなるため適切である。	1
			るコストは適		R <del>eft</del>	=			<u></u> ややある	SCHOOL STANKE IN SCHOOL STANKE CONTRACTOR	3
率性	の余		ないか)	止 <i>り、</i> 日!	1/19%	=		余地が			
	財派	京矿	保の適切	性		$\overline{\mathbf{V}}$	適切で	ある		国や県等の補助等はないため適切である。	1
	(受益	拾	負担は適正な	か、国、県	等		改善の	余地が	ややある		
			手はないか)				改善の	余地が	多い		
		_	/		3	妥当	惟			検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)	
				0点	1,5	点	2点	3点	今後も新型コ[	ロナウイルス感染拡大のため、大会は開催されなかった。3年以上開催され	こてい
			いずれか0点	d	c	;	С	С	ないため、参加   1. 団体の活動	ロ者数が減少することが懸念されるが、今後は要請があれば大会運営に協 かを積極的に支援することで伝承文化の保存・継承に努めていきたい。	iJJ
	.	有				-			O C D PT W / N D	がでは、一般により、これには、一般に対している。	
	ת'	効性	いずれか1点	С	С	•	С	С			
1	"	i±	合計4点	С	c	:	b	b			
<u>†</u>		効率	A=1.E.E.			+					
= \$	正吉	率性	合計5点	С	b	)	b	а			
5	<b>#</b>		合計6点	С	b		a	а			
			a	業務 ある		勺容	おは適	切で			

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

7,5					方向性		成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
				ייוער	בוניו כל ל	Ē.	
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後の	成果の方向性	維持		E	D		
の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
		)	成果	・費用	とも終	辪	

[福岡県志免町]

基本性	青報	□令	和04年度 実施計画事業 □総合戦略該当事業				事務事業コード	1504202
Ę	<b>事務事業名</b>		文化財整備·保護事業	ł	旦当課	社会教育課	担当係	社会教育係
総体	施策	04	まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興	予.算	会計款	01 一般会計 10 教育費		
総合計画系	取り組み方針	4-2		科目	項	05 社会教育費		
					<u>目</u> 別計画	07 文化財保護	. 費	
実施	期間 □04	1年度 <i>0</i>	Dみ ✓単年度繰返 H 14 年度より開始	台		」 □期間限定(複数年		年度

# 1 計画・実施(PLAN・DO) (1)事務事業の目的と事業内容

事	①対象	対象名 ⑦文化財	単位	03年度	04年度	05年度 (見込) 197
事務事業	(誰を、何を)	② 史跡	箇所	2	2	2
業の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	⑤ ・(文化財)指定がなされる ・(文化財)適正に収集、整理、保存される ・(史跡)整備、管理される				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	各種文化財の認定、適正な保存、管理と史跡整備、保存修理を行う ・文化財保護審議会の運営 ・文化財保存協議会への参加 ・文化財整理作業、委託契約事務、施設の光熱水費支払事務				

#### (2)指標達成状況

(4/1		7,770							
	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	文化財保護審議会開催数	1	回	目標 実績	1	1	1	100.0%
1	活動	   文化財保存協議会参加数	<b>1</b>		目標	1	1	1	
	71130	NIONI PRI I IMPANA PIARA	'		実績	0	0		
ゥ	活動	文化財整理数	<b>1</b>	箱	目標	200	200	200	100.0%
	70 37)	X10%JEZXX	'	714	実績	200	200		100.070
I	成果	) 文化財指定数(累計)	<b>^</b>	件	目標	8	8	8	87.5%
	IX. <del>X</del>	大门别日在数(米司)	' '	ПТ	実績	7	7		87.570
オ	出出	  史跡整備率(史跡整備数/史跡整備計画数)	<b>1</b>	%	目標	100.0	100.0	100.0	100.0%
7]	成果	文勋定佣学(文勋定佣数/ 文勋定佣引 画数)		70	実績	100.0	100.0		100.0%
カ					目標				
71					実績				

#### (3)総事業費の推移

		財源内訳(単位		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
		国·県支出金	<b>主、地方債</b>	0	0	0	0		
事	4-	受益者	負担	0	0	0	0		
業	経	その他特	定財源	0	0	0	0		
未	費	一般則	才源	3,623	3,838	3,636	3,611		
費		合計(	A)	3,623	3,838	3,636	3,611		
		(内 会計年度任)	用職員人件費)	1,217	1,205	1,204	1,236		
		正職員人件費[按	分](B)	2,111	1,918	2,524	2,791		
		トータルコスト(A	v)+(B)	5,734	5,756	6,161	6,402		
関	与職員	員数(単位:人)	正職員	0.28	0.25	0.33	0.36		

#### (4)環境変化·住民意見等

①事務事業開始のきっかけ		③事務事業に対する関係者からの意見・要望
平成4年に担当者を配置。	文化財保存・管理に係る学芸員の数が足りず、思うように整理作業が進まない状況である。	歴史資料室利用者から施設の充実の要望が ある。

2	分析	<u></u> 近	検証(Ch	<b>HEC</b> I	()						
		Ē	平価の視点	点				項	目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
	上位	拉施	策への貢	献度		\	貢献度	高い		文化財が整備・保存されることで、まちの歴史・文化を継承することが	
			業の成果が」				貢献度	ふつう		できるので、総合計画の施策である「ふるさと意識を高める」の取り組	
	ロ か )	9 3	の実現に直	結して	,10		貢献度	低い		み目標と一致する。	
妥	意図	<b>Φ</b>	適切性			~	妥当で	ある		文化財保護法や町の文化財保護条例で文化財保存のために必要な措置	
714	(総合	計	画、町民の二	一ズ、法	令		検討の	余地が	ある	を講じることが規定されているため。	3
性	等に変か)	対し	て、意図が通	動切であ	ර		検討の	余地が	多い		
			関与の必				妥当で	ある	-	文化財保護法で、公共の関与が示されているため。	
	(白沙	>/★	が主体で取組	日おいべき	車			余地が	<u></u> ある		
	業か、	、住	民参画の余地	也はない	か)			余地が			
	成果	₹σ,	向上余地			Ш			<u>- ・</u> が得られている	文化財を指定して保存することで、文化財を適正に保存できるが、指定	
	(期待	す	る成果を得ら	られたか	、今				地がややある	するためには調査・研究する必要があり、時間がかかる。	
	後期行あるが		る成果をあ	げる余り	也が	Щ			地が多い		
_			適切性			Ш	適切で		(20) 9 V	  文化財保護法・志免町文化財条例で文化財の対象が規定されている。	
有効			達成するうえ	で、現	犬の				ややある	NIDWINIAN WINDOWS NIDWINIAN WINDOWS NIDWO CALLON CO. BO	2
	1100		が最も有効 設定はない					余地が			_
	手段	λ13 3	)適切性	13.)		Ш	適切で		<i>9</i> 01	▲ ■対象において、委員会の専門的知識を伺ったり、他市町村の動向を把握	
			達成するうえ	で、現場	犬の				ややある	したりすることは、文化財を適切に保存していくうえで不可欠である。	
	手段	が最	<b>最も有効か、</b> 個					余地が			
		_	iいか) )効率化			Ш	効率的		301	  文化財の保存を適切に行うため、事業内容の工夫や委託を行っている	
									ややある	▼	
	(業務	計直し	順、関与職員 の余地はなり	!人数に いか)	つい	Ш		余地が		の余地はない。	
**	投入	. ¬	ストの適ち	<b>汀性</b>		Щ	適切で		3/01	  文化財を維持するためには適切な方法で管理していく必要があるた	
効率					us B				ややある	め、予算を削減することはできない。	3
	の余り	しゅ 地に	るコストは適 はないか)	止か、自	<b>小</b> 队	Ш		余地が			ا د ا
			経保の適切 はんきょう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	件		Ш	適切で		301	  対象となる事業がある場合はおうえん寄附金を活用し、財源を確保して	
				.—	- 4-4-				ややある	いる。	
			負担は適正だ 記ないか)	い、国、タ	子	Щ		余地が			
		_				妥当		71(26/)	-	I 検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)	
				0点	_	点	2点	3点		など、文化財の保存・整備を進めることができた。専門家の意見等伺いなだ。	がら、
				- ,,,,,					広く町民に周	知できるように設備等の更新を行っていきたい。	
			いずれか0点	d	(	2	С	С			
		有	いずれか1点	С	Ι,		С	С			
Á	·	効性			+						
١.	. ,	· //h	合計4点	С		2	b	b			
1	슈 Iz	効率	合計5点	С		2	b	а			
á	吉儿	性	пп э			_	٥	ч			
Ē	Į į		合計6点	С	k	Э	a	а			
			a	業務ある		内容	別は適	切で			

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

		0110			り方向性		成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			皆減				
		拡充		С	В	Α	
今後	成果の	維持		Е	D		
今後の方向性	の方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
		0	成果	・費用	とも糸	維持	

[福岡県志免町]

基本性	青報	☑令	和04年度 実施計画事業					事務事業コード	1504203
胃	<b>『務事業名</b>		竪坑櫓保存管理事業	1	担当課	社	会教育課	担当係	社会教育係
総体	施策	04	まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興	予	会計	01	一般会計		
合	ルス	04	よらの極力の向上と歴史文化・産業の孤典	予算	款	10	教育費		
総合計画系	野い組み士針	1_2	ふるさと意識を高める	科目	項	05	社会教育費		
曲 糸	4人の小田の人の一下	4	かること思惑を同める	П	Ш	07	文化財保護	費	
根挑	见法令条例等			個	別計画				
実施	期間 🔲 04	₽ 中度0	Dみ ✓単年度繰返 H 25 年度より開始	台		□期間	聞限定(複数年	) 年度~	~ 年度

#### 1 計画·実施(PLAN·DO)

#### (1) 事務事業の目的と事業内容

		対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
事務事業	①対象 (### G## )	② 竪坑櫓	件	1	1	1
事	(誰を、何を)	<b>(1)</b>				
		(b)				
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・適切に保存、管理される				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	竪坑櫓が国の重要文化財(平成21年12月8日)となり、文化庁の指導に、 ・竪坑櫓史跡地測量調査設計業務の事務 ・竪坑櫓保存活用計画改訂の事務	より適	切な保存	管理を行	Ò

#### (2)指標達成状況

	種別	指標名	<sup>目指すべき</sup> 方向性	単位		03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	会議(打合せ)回数	<b>1</b>		目標	1	0	10	#DIV/0!
	71137	<b>公</b> 協(1)10 と / 口	'		実績	1	18		# 51 7 0.
1	活動	工事件数	<b>^</b>	件	目標	1	0	1	
1	/口到	工事什 <b>奴</b> 	ı	П	実績	1	0		
ゥ	活動	史跡地整備関連の委託件数	<b>1</b>	件	目標	-	2	0	100.0%
'	心到	文例心金浦民建の安託什奴		11	実績	-	2		100.078
エ	成果	史跡地整備進捗率	Λ.	%	目標	-	50.0	100.0	100.0%
1 -	以木	文例地走開進79年		/0	実績	-	50.0		100.078
才					目標				
را					実績				
カ					目標				
71					実績				

#### (3) 総事業費の推移

		財源内訳(単位:千円)		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
		国·県支出金、地方	債	104,111	0	0	4,314		
事	4.77	受益者負担		0	0	0	0		
業	経	その他特定財源		76,954	4,044	3,799	53,718		
未	費	一般財源		0	180	164	0		
費		合計(A)		181,065	4,224	3,964	58,032	未定	
		(内 会計年度任用職員	人件費)						
		正職員人件費[按分](B	3)			2,141	2,398		
		トータルコスト(A)+(B	3)	181,065	4,224	6,105	60,430		
関	与職員	員数(単位:人) 正	職員			0.28	0.31		

#### (4)環境変化·住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
	国の重要文化財として、文化庁の指導のもと適切に保存していかなければならない。	今後の修理費用について、議会から問われ た経緯がある。

2 分析・検証(CHECK)

2 5		・検証(Cl	_	()					
		評価の視点				項	[目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
		を策への貢			✓ 貢献	き高い		総合計画では、竪坑櫓の適切な保存管理と活用を行うことが謳われて	
( <del>-</del>	事務事	「業の成果が」 姿の実現に直	上位施策 結してし	のいろ	□貢献團	きふつう		■おり、適切な保存管理することは、施策の「ふるさと意識を高める」取り ■組み目標と一致する。	
か		又マノスのに巨	пдо с с	. 0	□貢献度	复低い			
妥制	1図(	の適切性			☑妥当で	である		町で策定した「重要文化財 旧志免鉱業所竪坑櫓保存活用計画」により	
当場		├画、町民の二 して、意図が遜			□検討σ	金地が	ある	【保存していく必要がある。	3
土か	١)			9	□検討σ	金地が	多い		
É	自治体	本関与の必	要性		☑妥当で	である		文化財保護法で、所有者の管理義務が示されており、自治体が主体的 	
(E	自治体	が主体で取組	むべき	事、	□検討σ	金地が	ある	に行っていく必要がある。	
		住民参画の余均		(ילהי	□検討σ	金地が	多い		
	• • • •	の向上余地			☑期待。	る成果	が得られている	┃旧志免鉱業所竪坑櫓を適切に維持管理するため、定期的な点検を行っ	
		「る成果を得ら する成果をあ			□成果の	)向上余	地がややある	ていく必要がある。	
あ	るか)	)	7 07,1-1	_,,	□成果	)向上余	地が多い		
	寸象(	の適切性			☑適切で	である		国の重要文化財である竪坑櫓を、保存管理する事業である。	
	意図を  金融	達成するうえ 定が最も有効	で、現状 か、他に	が有	□改善の	金地が	ややある		3
1土 効	な対象	象設定はない	か)	. [3	□ 改善σ	金地が	多い		
		の適切性			☑適切で	である		竪坑櫓を適切に保存していくには、文化庁・県の指導を受けながら適正	
		達成するうえ 最も有効か、他			□改善の	金地が	ややある	に保存をしていく必要がある。	
手	段は	ないか)	510 13703	, 0.	□改善の	余地が	多い		
第	養務の	の効率化				りである		竪坑櫓の保存管理事業は、文化庁・県・委員会等の専門的知識を伺いな	
(美	業務手	順、関与職員	人数につ	οll	□改善の	)余地が	ややある	がら進めるため適切である。	
		しの余地はない			□ 改善 <i>の</i>	)余地が	多い		
XVI	战人=	コストの適切	刃性		☑適切で	である		┃竪坑櫓を適正な方法で管理していく必要があるため、予算を削減するこ ┃とはできない。	
率(技	投入す	るコストは適	正か、削	減	□ 改善 <i>0</i>	)余地が	ややある		3
1		はないか)	W		=	金地が	多い		-
具	才源的	催保の適切	忹		☑適切で			国・県の補助金や、おうえん寄附金を活用しながら財源を確保していく。	
		新負担は適正が 等はないか)	い、国、県	等			ややある		
0)	州助	419ペハハ)				金地が	-		
			0 -		妥当性	1		・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)	= \ . 077
		$\overline{}$	0点	1;	点 2点	3点	TM4牛皮は   明施設設置工	竪坑櫓周辺史跡地整備の測量設計を行った。令和5年度は史跡地整備工事 事を行う。以降、竪坑櫓の適切な管理と活用を進める。	黒つま
		いずれか0点	d	C	: с	С	列尼欧欧巴工	中では20分件が立が間の過ぎる日本では出てたのの。	
$\Delta$	有	いずれか1点							
分析	効性		С	C	: C	С			
•	•	合計4点	С	0	: b	b			
検	効率	스카드노		L	b	_			
証結	性	合計5点	С	k	b b	а			
果		合計6点	С	k	a	а			
		a	業務 ある		内容は適	切で			

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

					方向性		成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			-	J / I / V	//J [P] [_	_	
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後	成果の方向性	維持		Е	D		
方向	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
			成果	・費用	とも終	推持	

[福岡県志免町]

基本性	青報	√令	和04年度 実施計画事業 □総合戦略該当事業				事務事業コード	1504204
哥	<b>事務事業名</b>		歴史資料室運営事業	1	担当課	社会教育課	担当係	社会教育係
総体	施策	04	まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興	予算	会計款	01 一般会計 10 教育費		
総合 計画 系	取り組み方針	4-2		科目	項	05 社会教育費	-	
<u>п</u> //\					目	07 文化財保護	費	
根挑	心法令条例等	文化	材保護法	個	別計画			
実施	期間 □04	年度の	Dみ < 単年度繰返 H 4 年度より開始	台		□期間限定(複数年	=) 年度~	~ 年度

# 1 計画・実施(PLAN・DO) (1)事務事業の目的と事業内容

		対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
事務事業	①対象 (また)	⑦ 町民	人	46,518	46,631	46,532
事	(誰を、何を) 	<b>②</b>				
		(b)				
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・志免町の歴史や文化財について知識を深めることができる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	歴史資料室の運営のほか、イベントや歴史講座など町内の歴史や文化財(・歴史資料室の運営、企画展の実施・イベントの開催(文化財ウォーク、炭鉱かるた大会)、歴史講座の開催	の学習	啓発活動	を行う	

#### (2)指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	資料室開室日数	<b>1</b>	日	目標	280	280	65	108.9%
,	/白剉	貝科主用主口奴	ı	Н	実績	241	305		100.976
1	活動	企画展開催数	<b>1</b>		目標	1	1	1	100.0%
-1	/白到	正凹版州准数	ı		実績	1	1		100.0%
ウ	活動	イベント、講座等開催数	<b>1</b>		目標	3	3	2	33.3%
	/白剉/	「ハンド、神圧守所征奴」	ı		実績	1	1		33.370
I	成果	資料室入場者数	<b>1</b>	,	目標	1,200	1,200		17.3%
	以木	與代主八物日奴 	' '	人	実績	286	208		17.570
オ	成果	企画展示入場者数	<b>1</b>	,	目標	350	350	350	114.3%
~1	以木	正四肢小八吻有数	ı	人	実績	300	400		114.5/0
カ	成果	イベント、講座等参加者数	Λ.	,	目標	220	220	200	15.9%
71	以木	「ハンド、神圧守参加有数	ı		実績	35	35		13.970

#### (3) 総事業費の推移

		財源内訳(単位:千円)	03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
		国·県支出金、地方債	0	0	0	0		
事	4.77	受益者負担	0	0	0	0		
業	経	その他特定財源	0	0	0	0		
*	費	一般財源	651	725	608	446		
費		合計(A)	651	725	608	446	725	
		(内 会計年度任用職員人件費	)					
		正職員人件費[按分](B)	2,185	1,832	2,301	2,096		
		トータルコスト(A)+(B)	2,836	2,557	2,909	2,542		
関	与職員	員数(単位:人) 正職員	0.29	0.24	0.30	0.27		

#### (4)環境変化·住民意見等

①事務事業開始のきっかけ     ②事務	8事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
平成4年に担当者を配置し、歴史資料を公 開。		歴史資料室利用者から施設の充実および担 当職員の増員の要望がある。

2	分	折・	検証(Ch	<b>HECK</b>	()					
		評	価の視点	点			項	目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
	上位	立施:	策への貢	献度		√ 貢献!	度高い		町の歴史や文化財に町民が関心を持つことは、上位施策の文化財や伝	
			の成果が」			貢献!	度ふつう		<b>■統文化に誇りを持ちながら住み続けたいと思えるまちづくりに直結す</b>	
	か)	9 安	の実現に直	結してい	ا ا	貢献	度低い		- 5.	
妥	意图	図の;	適切性			✓妥当で	である		総合計画の「ふるさと意識を高める」取り組みで、まちの歴史や伝統文	1 1
出	(総合	動信	町民の二	一ズ、法	令	検討の	D余地加	ある	化を継承することとしているため。	3
性	寺に か)	対し	て、意図が通	型別 ぐめ∙	9		D余地加	多い	1	
	自治	台体	関与の必	要性		✓妥当で	である		博物館法に基づき地方公共団体が設置した資料室として、調査・研究・	
	(自治	台体カ	が主体で取組	且むべき	<b>事</b> [		D余地加	ある	<b>【</b> 公開を町が責務として行うことが妥当であるため。	
	業か	、住民	民参画の余り	也はない	か)	検討の	の余地が	多い	1	
	成身	見の	向上余地			期待	する成果	が得られている	コロナ禍、現状のシステムにおいては、成果向上は難しいため、歴史資	
			成果を得ら			√ 成果の	D向上新	(地がややある	<b>▼料館を建設し、展示施設等をリニューアルすることで、見学者数増が期</b>	
	俊期ある		る成果をあ	ける赤地		成果の	D向上新	除地が多い	一待される。	
有	対象	との	適切性			✓適切で	である		町民が町内の歴史や文化財に触れ、学ぶための機会となる。	1 1
効	(意図	図を通	越するうえ	で、現状	tの	改善の	D余地力	ややある	1	2
性	対象 効な	設定 対象	が最も有効 設定はない	か、他に か)	有	改善 <i>(</i>	D余地加	多い	1	
	手段	分の	適切性			✓適切で	である		町の歴史を知ってもらうための資料の取り扱いは、専門性の高い知識・経験が	
			を成するうえ			改善の	D余地加	ややある	▼要求されるため、それに精通した専門職員(学芸員)による運営が必要になって ■ くる。また、歴史資料館を竪坑櫓周辺に建設することにより、町のシンボルとし	
			も有効か、作 いか)	凹に有効	び	改善の	D余地加	多い	■ くる。 あた、	
	業務	多の	効率化			✓効率的	勺である		資料室の運営を適切に行うためには、専門職員(学芸員)等の人手と時	
	(業科	条手順	頁、関与職員	人数にこ	วเง	改善の	D余地加	ややある	間がかかることはやむを得ず、削減の余地はない。	
	て見	直し	の余地はなり	いか)		改善の	D余地加	多い	1	
効	投力	(コ:	ストの適ち	70性		✓適切で	である		資料の適正な維持管理や展示をしていく必要があるため、予算を削減	
率性			らコストは適	正か、削	減	改善の	D余地加	ややある	することはできない。	3
性	の余	地は	ないか)			改善の	D余地加	多い	1	
	財源	<b>原確</b>	保の適切	性		✓適切で	である		補助の対象となる事業が限られているため、補助対象となる事業を行	
			負担は適正だ	か、国、県	等	改善の	D余地加	ややある	う場合は補助金を申請することとしている。	
	の補	助等	はないか)			改善の	D余地加			
					3	经当性			検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)	
				点0	1点	2点	3点	資料室では町	内にある資料の整理作業も進めつつ、展示の更新を行っている。しかし、閉	整かし
			いずれか0点	d	С	С	С	り30年以上的  している。	圣過し、施設のリニューアルの時期に来ている。また、収蔵施設・整理施設も	が形
		有							資料館(仮称)建設に関する庁内検討会議報告書」にあるように、今後、竪坊	植の
	j	効 🛚	いずれか1点	С	С	С	С		歴史資料館の建設を進めていくことで、相乗効果が生まれ見学者が増加し	てい
1	"	性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	合計4点	С	С	b	b	くことと思われ	กลง	
村		効 🗕								
	Ę į	率 <i>.</i> 性	合計5点	С	b	b	а			
4 5	吉良	-	合計6点	С	b	а	а			
			a	業務ある	の内	容は通	動で			

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

<u> </u>	1						成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			コストの方向性			Ē	INVICANDE AND A HEAD WIND CAMPIAN
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後	成果の方向性	維持		Е	D		
の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
	[	)	成果	・費用	とも終	辪	

[福岡県志免町]

基本性	青報	□令	和04年度 実施計画事業 □総合戦略該当事業				事務事業コード	1504205
Ę	<b>事務事業名</b>		発掘調査事業	1	担当課	社会教育課	担当係	社会教育係
総体	施策	04	まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興	予算	会計款	01 一般会計 10 教育費		
総合計画系	取り組み方針	4-2	   ふるさと意識を高める	科目	項	05 社会教育費		
凹示	コスン小江のアフリ亚ト	7 4	いることが成と向りる		Ш	07 文化財保護	費	
根挑	见法令条例等	文化	材保護法	個	別計画			
実施	期間 🔲 04	1年度の	Dみ	台		□期間限定(複数年	(年度~	4 年度

# 1 計画・実施(PLAN・DO) (1)事務事業の目的と事業内容

		対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
事務事業	①対象	⑦ 発掘対象地	件	0	0	0
事	(誰を、何を)	<b>(1)</b>				
		( <del>0</del> )				
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・埋蔵文化財に関する記録が保存される				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	土地開発等による埋蔵文化財の調査等を行う ・開発事前協議による事前審査 ・試掘調査、発掘調査、埋蔵文化財の整理、報告書作成				

#### (2)指標達成状況

	種別	指標名	<sup>目指すべき</sup> 方向性	単位		03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	事前審査件数	<b>1</b>	件	目標	470	500	500	95.2%
,	/口到		ı	П	実績	495	476		93.270
1	活動	試掘件数	<b>^</b>	件	目標	5	15	10	80.0%
-1	/白剉	高均温计数	I	ΊΤ	実績	11	12		80.076
ウ	活動	発掘件数	<b>^</b>	件	目標	0	1	0	
'	心到	光斌   十数	I	11	実績	0	0		
I	活動	  発掘面積	<b>1</b>	件	目標	0	1	0	
	/口到	元)	ı	П	実績	0	0		
才	成果	報告書作成件数	<b>^</b>	m2	目標	100	100	100	
\1	以木		I	1112	実績	0	0		
力	成果	適正に調査が行われた割合(発掘件数/発掘	<b>^</b>	%	目標	100	100	100	
//	以木	が必要な件数)	ļ	/0	実績	0	0		

#### (3) 総事業費の推移

		財源内訳(単位	:千円)	03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
		国·県支出金	s、地方債	0	0	0	0		
事	4.00	受益者	負担	0	67	0	0		
業	経	その他特	定財源	0	0	0	67		
未	費	一般則	才源	443	582	455	610		
費		合計(	A)	443	649	455	677		
		(内 会計年度任)	用職員人件費)						
		正職員人件費[按	分](B)	2,185	2,454	2,833	2,710		
		トータルコスト(A	v)+(B)	2,628	3,103	3,289	3,387		
関	与職員	員数(単位:人)	正職員	0.29	0.32	0.37	0.35		

#### (4)環境変化·住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
平成4年に埋蔵文化財を専門とする学芸員		開発者から費用負担を減らしてほしいとの意見がある。

2	分析·検証(CHECK)										
	評価の視点				項目			評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定		
	上位	施策へ	の貢	献度		☑貢献	度高い		埋蔵文化財に関する調査は、町の歴史を継承する一助となるため、総合		
		事業の成				□貢献度ふつう			計画の施策である「ふるさと意識を高める」取り組み目標と一致する。		
	目指す姿の実現に直結しているか)					貢献	度低い				
妥	意区	の適切	性			☑妥当	である		埋蔵文化財に関する資料の整備、その周知の徹底を図るために必要な 措置を取ることが規定されている。	3	
当	(総合	計画、町	民の二	ーズ、法	令	□検討(	の余地だ	がある			
性	寺にX か)	付して、意	図か返	切でめ	6	□検討(	の余地だ	多い			
	自治	体関与	の必	要性		☑妥当	である		文化財保護法で、公共の関与が示されているため。		
	(自治	体が主体	で取組	むべき	事		の余地だ	がある			
	業か、住民参画の余地はないか)					□検討	の余地が	多い	]		
	成果	の向上	余地			□期待	する成果	見が得られている	埋蔵文化財を適正に保存していくための事前審査照会システムを改善		
	(期待する成果を得られたか、今 後期待する成果をあげる余地が あるか)					☑成果(	の向上急	戻地がややある	することによって、作業の効率化が図られる。 		
						□ 成果	の向上を	戻地が多い			
有	対象	の適切	性			☑ 適切	である		埋蔵文化財包蔵地の調査を行うことで、町内の埋蔵文化財に関する記録が適切に保存される。	2	
効	(意図	を達成す と定が最	るうえ	で、現状から他に	けの	□改善	の余地が	がややある			
性	対象は対	対象設定	はない	か( か)	Ħ	□改善	の余地だ	多い			
	手段	の適切	性			☑ 適切	である		埋蔵文化財の調査をすることで、町の歴史の基礎資料が得られ、歴史資		
	(意図	を達成す	るうえ	で、現状がある。	で た	□改善	の余地だ	げややある			
		はないか		SIC H XII	΄δ	□改善	の余地だ	多い			
	業務	の効率	化			☑効率□	的である	1	埋蔵文化財を適正に保存していくためは、専門性の高い知識・経験が要		
	(業務	手順、関	与職員	人数にこ	οlι	□改善の余地がややある			求されるため、精通した専門職員(学芸員)が必要になってくる。		
	て見直しの余地はないか)					□改善	の余地な	多い		.	
効	投入	、コスト	の適切	刀性		☑適切	である		埋蔵文化財の調査費用は、原因者負担が原則としている。調査原因が個人住宅建設に伴う場合は国・県補助が認められ、町も負担することとなる。	3	
率性		するコス		正か、削	減	□改善	の余地な	がやある			
11生		也はない		L/I		改善	の余地な	多い			
	財源	確保の	)適切	性	L	✓ 適切					
		者負担は		、国、県	_			がややある			
	いか相は	明守はな	(1///			□ 改善	の余地だ				
				۰.		妥当性	1		・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)	lul. rea	
				0点	1点	2点	3点		が包蔵される可能性がある土地の試掘調査を行い、適正に埋蔵文化財包蔵 <sup>は</sup> うことができた。今後は、出土した遺物の整理を少しずつ進めていく。	心凶	
		いずれ	いか0点	d	С	С	С	0) X M E 13 2	プログランでである。 / 区間に出土のた医園の正々でクロテン座のですべ		
,	有		い1点	-							
5   材		(/J	いいは	С	С	С	С				
•	· 効率性		4点	С	С	b	b				
村											
訂紹		生	r5点	С	b	b	a				
月		合計	l6点	С	b	a	а				
		<b>a</b> 業務のである				容は道	適切で				

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

<u> </u>	NET (ACTIO						成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			コストの方向性				INVICANDE AND A HEAD WIND CAMPIAN
			皆減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性	成果の方向性	拡充		С	В	Α	
		維持		Е	D		
		縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
		休廃止	G				
	[	)	成果・費用とも維持			辪	